

スカウティング

平成31年1月1日発行 通巻729号(奇数月1日発行) 昭和33年12月15日 第3種郵便物認可

www.scout.or.jp JAPAN

# SCOUTING

2019  
No.729  
1



なろう。一人前に。  
キャンペーン実施中

特集

## 100周年に向けて

年頭所感

新春名刺交換



SCOUTS  
Creating a Better World



そなえよつねに  
ボーイスカウト

CONTENTS

- 02 年頭所感 奥島孝康理事長  
教・学の原点 —ルイ・アラゴンの詩から
- 04 年頭所感 福岡正巳日本連盟コミッショナー  
「SCOUTING」の実践に取り組もう  
—スカウトの、スカウト自身による、スカウトのための運動—
- 06 日本連盟創立100周年まであと3年  
さらなる未来へ
- 09 ニッポン全国元気団紹介  
神奈川連盟 川崎第43団
- 10 OB インタビュー  
映画監督 菊地健雄  
パティシエ 青木定治
- 12 2019年の主な行事
- 13 2019年度 国際交流事業計画
- 14 企業や団体とのタイアップによるコラボレーションバッジ  
カブスカウト対象 新チャレンジ章
- 16 しぜんとあそびデイキャンプ2018  
in 高萩スカウトフィールド
- 17 日本連盟創立100周年に向けて  
ボーイスカウト再興への道 シリーズ(6)  
日本連盟事務局移転の意図
- 18 セーフ・フロム・ハームの取り組み
- 19 野外活動のための安心・安全講座  
資料「17NSJ 事故事例」
- 20 世界のスカウト人口
- 21 エッセイ
- 21 信仰奨励
- 22 スカウティングとウッドクラフト®  
「世界スカウト機構」の資料で確認する  
現代のスカウト教育法とウッドクラフト
- 24 自然災害への支援状況報告
- 25 スカウトライブラリー オープン!
- 25 2019年度からの日本連盟加盟登録料について
- 26 ローカルホットライン
- 28 第13回日本アグーナリー
- 28 維持会員
- 29 日本連盟情報
- 29 第46回 全国ボーイスカウト写真コンテスト  
作品募集
- 30 新春名刺交換
- 38 訃報
- 39 スカウトショップ



年頭所感

# 教・学の原

—ルイ・アラゴンの詩から

日本連盟理事長 奥島孝康

## I はじめに

ぼくの41年に及ぶ教歴を導いたものは、数えてみればいろいろあるが、41年間一貫してぼくを突き動かした言葉は、ルイ・アラゴン (Louis Aragon, 1897-1982)の詩の一節である。

それは、友人から教えられたルイ・アラゴンの「ストラスブール大学の歌」という詩にある「教えるとは希望を語ることであり、学ぶとは誠実を胸に刻むことである (Enseigner c'est dire espérance/Étudier fidélité)」というものであった。教員になったばかりのぼくが図書館でこの詩を読んで感動したときのことを、今でもよく覚えている。教えるとは、知識を与えることではなくて、未来を創るための勇気を与えることであり、学ぶとはそのために本気で、全力をふりしぼってその課題にぶつかっていきことだと考えたからである。

## II 「学ぶ」とは

スカウトは、《learning by doing》によって学ぶ。具体的には、パトローリングとウッドクラブにより体験することで学ぶのであって、決して座学で学ぶのではない。もとより、隊長や上級班長などのヤーン (夜話) から学ぶことも少なからうが、基本的には、ハイキングとキャンプにより、サバイバルの技術と生き方の訓練とを中心に体験学習することである。

大学においても、スポーツとか実習とか、体験学習もあるにはあるが、学習の中心が講義という座学にあることはいうまでもなく、スカウトの体験学習とは異なり、もっぱら頭脳トレーニングが中心である。学習そのものにつ

いては、いずれも「誠実を胸に刻むこと」は必要ではあっても、胸に刻む学びが日常の行動で示されなければならないスカウトの行動規範とは異なっている。

## III 「教える」とは

スカウトとは異なり、スカウター (指導者) たる者は、リーダーとしてスカウトを指導する必要がある。しかし、大学の教師と学生という関係とは異なっている。スカウトとスカウターの関係は、その呼称の類似性にみられるように、先輩と後輩に近い関係であり、上下や優劣の関係ではなく、体験の有無にすぎない。同じ知識であっても、それは知識の量にあるのではなくて、知識の質にあることを知るべきである。

つまり、スカウトの目的は、人にやさしい社会の創造である。別の言い方をすれば、共存共栄をはかるベターワールドの創造である。そのためには、ぼくたちは互いに感謝の心をもって奉仕をする必要がある。ぼくたちは、ともすれば、助力するとか、協力するとか、何かを他人のために奉仕する (お役に立つ) とか、えらそうにも一方的に何事かをしてあげると思いがちである。しかし、実のところは、自分でも気がつかないうちに誰かのお世話になっているとか、場合によれば、誰一人気がつかないうちに、社会から恩恵を蒙っていることが少なくない。それゆえ、ぼくたちが奉仕をしているつもりでも、それは受けた恩のほんの一部の恩返しにすぎないことが少なくない。意外とそれに気がついていない者が多いが、そのことをしっかりと認識しておくべきである。そのことを理解するかどうかで、真のスカウトになっているかどうかが決まる。

指導者の教えは、すべてを尽くしているわけではない。また、その必要もない。教えられる側のスカウトに、誠実を胸に刻むほどの真剣さがあれば、ひとつの体験は百の効果を生むであろう。大切なことは、そのひとつの教えがスカウトの心に響くかどうかにある。スカウトの未来 (希望) を開くことにつながる、さわやかなリーダーの号令が青空に響くことを期待したい。

## IV ルイ・アラゴンとは

ルイ・アラゴンの詩を唐突に持ち出し、スカウトのあり方についてあれこれ述べるのには理由がある。もとより、アラゴンはスカウティ

ングとはまったく無縁の人である。しかし、ぼくがアラゴンを持ち出したのは、ぼくの人生の大半を占める研究生生活のなかで、「教えるとは希望を語ることであり、学ぶとは誠実を胸に刻むことである」というフレーズが、絶えず頭の中でガンガン鳴り響いていたからであった。その想いはスカウティングに携わるようになった現在でも続いている。ぼくの思い入れが深いことは間違いないが、単にそれだけのことではない。

「教えること」と「学ぶこと」をこんなふう言葉で示した例がこれまでにあっただろうか。それもこれほどに深い意味をもつ美しい表現になろうとは。繰り返すが、ぼくはこの詩を最初に読んだとき、心がふるえるほど深い感動を受けた。その感動は、過去を回顧するものではなく、未来を見つめる前向きな覚悟としての感動である。誠実を胸に刻みながら教えるを学び、未来の希望の道を歩む若者を教える。これほどの栄光に満ちた人生はほかにあろうか。ぼくは研究者の道に進んだ幸運をつくづく感謝した。しかも、この言葉はストラスブール大学から生まれた。

ストラスブールという都市は、ヨーロッパの中心に位置し、絶えずドイツとフランスの争奪の係争の地となったアルザス＝ロレーヌの中心にあり、いまはフランスの領土であるにもかかわらず、街の中ではドイツ語のほうが多く使われているように思われるほどのフランス離れた土地である。二度の世界大戦では、二度ともドイツに併合されたが、二度ともフランスが奪回したフランスの土地である。この土地で生まれ育ったアラゴンは、ストラスブールの戦いからレジスタンスに身を投じ、レジスタンスの英雄になるとともに、きわめてミラントな詩人として知られるようになった。

ぼくがアラゴンをここに引っぱり出したのは、彼が詩人として、また作家として高名だからではない。彼は、信念のために命を賭ける行動の人だったからである。スカウトは、信念に基づいて、世のため人のために行動する人でなければならないと考えるからである。

## V 結びに代えて

「アンセニエ・セ・ディール・エスペランス。エテュディエ・フィデリテ」——なんという心に響く美しい言葉であろうか。スカウトの好きなモットーのひとつとなってほしい。これこそが、スカウティングのアルファでありオメガであると信じるからである。

# 点



## 年頭所感

# 「SCOUTING」の 実践に取り組もう

— スカウトの、スカウト自身による、スカウトのための運動 —

日本連盟コミッショナー

福島正己

## 不変のもの

ボーイスカウト日本連盟は、2022年に創立100周年を迎えます。

3年後に100歳の誕生日を迎える、日本のボーイスカウト運動は、不変の価値と多くの先輩諸氏のこの運動に対する情熱と奉仕の精神によって長い歴史を築いてまいりました。

ボーイスカウト日本連盟が1969(昭和44)年8月1日に発刊した『ボーイスカウトポケットブック』が、私の手元にあります。その中の「指導者編」においてボーイスカウト隊長について記述されている部分を紹介いたします。

「隊長の仕事は、年少幹部(グリーンパー)を訓練指導して、彼ら自身で隊を運営させることであって、隊長自らが隊を動かすことではない。さらに隊長の責務は、隊員を激励して自ら習わせ、その成長を助けてやることであって、個々の少年にスカウト技術を教練することではない」

すでに50年近く経過しているボーイスカウト日本連盟発刊の書籍ですが、原則は現在まで変わっていません。

## 変えてはならないこと

現在、日本連盟のボーイスカウト隊の1こ隊平均加盟員数(2018年8月末)は8.2人です。また、1こ隊の平均班数は、1.2班です。1こ

班のスカウト数が1こ隊のスカウト数という現状では難しいことかもしれませんが、隊長が上級班長や班長ようになってはいないでしょうか。隊長自身が、班長や上級班長の仕事を奪い取ってはいませんか。時代がいかに移り変わろうと、原則を変えてはスカウト教育ではありません。隊集会等の活動において、少人数だからといって隊長が上級班長または班長の代わりをすると、大人が主導する隊活動になり、スカウトにとっては学校を思い出させ、授業を受けているように感じてしまうかもしれません。自分たちで考えた集会の活動ができていないため、面白さを感じずに残念ながら退団するスカウトも増えていくのではないのでしょうか。「スカウトの、スカウト自身による、スカウトのための運動」でなければならないと思っています。今一度、指導者が自らを評価してみましょう。

## SCOUTING を構成するもの

スカウティング(「スカウト運動」「スカウト教育」「スカウト活動」と3種に用いられる)の英語表記は、「S」「C」「Outing」の3つに分解できます。WB 実修所 BS 課程第35期(1975年5月)の志波栄吉所長(故人)がコース中のセッションで、次のように話されていたことを思い出します。

S …………… Song (歌)

C …………… Camp (キャンプ)

Outing …… 野外活動

SCOUTING の綴りを解釈したのだと思いますが、よく考えられたものだと、ただただ感心しています。このように分解してみると、最近のスカウトたちは最初の1文字の「S(Song)」つまりスカウトソングをはじめとする「歌」を歌わなくなっていないですか。なぜ歌わないのだろうか、なぜ歌えないのだろうか。それは、ボーイ隊長に限らず、スカウトが所属する隊指導者がスカウトソングを知らないことが大きな原因ではないでしょうか。歌が苦手な指導者もいると思いますが、この苦手を克服することが必要です。それには繰り返しの練習が必要です。ひとつの歌を何回も何回も練習すれば、必ず上手に歌えるようになるはずで

## 活動に歌を!

指導者がスカウトソングを知らなければ、歌う機会もないまま集会が終わってしまいます。たしかにスカウトソングのメロディーは、今の子どもたちの感性には多少合わないかもしれませんが、スカウト活動においてスカウトソングは大切なプログラムのひとつです。スカウトソングには、服装と同じようにT.P.O. (「時間



「場所」「場合」があります。T.P.Oに合ったスカウトソングを歌わないと、スカウトたちの心に響かず、効果もありません。

集会の開会時や閉会時のスカウトソング、ゲーム、ハイキング、キャンピング、キャンプファイアなど、それぞれの「シチュエーション」によって効果的なスカウトソングを歌うことにより、活動のプログラムが一層盛り上がっていきます。スカウトソングは、「みんなで歌えばスカウト同士の一体感を生み、辛いことを吹き飛ばし元気になれる」「静かな自然や情景と一緒にいる」といった、スカウトの情操教育にはなくてはならない方法です。

地区、県連盟または日本連盟が主催する「スカウトソング研修会」や「ラウンドテーブル」等に積極的に参加し、スカウトソングが歌えるように最大限の努力をすることは、隊指導者の責務と考えています。

カブ隊においては、デンコーチがデンコーチ集会において隊長からスカウトソングを教わり、組集会の中でカブスカウトにスカウトソ

ングを教え伝えることが大事です。また、ボーイ隊においては班長会議、班長訓練等を通じて、上級班長、班長へ隊長から指導していくことがキーになります。

### おわりに

日本連盟創立100周年に向けたこれからの3年間は、いろいろな改革や改定が進むであろうと思います。しかし、世界スカウト機構の憲章に述べられている、スカウティングの定義、目的、原理、教育法は不変であり、加盟国内で勝手には変更したり改定したりはできません。

そのうえで、創立100周年を迎える日本連盟は、自国の状況に合わせた具体的な教育方法にすべく、今後もさまざまな施策の改定や改革を実行していきます。前向きにとらえていただき、現在の我が国のスカウト運動に必要なと考えられるさまざまな施策について、一丸となって取り組んでいきましょう。

日本連盟コミッショナーより

## 平成30年度冬季の諸活動に向けて(要約)

冬季諸活動において下記の留意事項を確認し、より一層安全なスカウト活動に取り組んでください。

### ■ 冬季諸活動の留意事項

スキー、スケートなどのウィンタースポーツや雪中キャンプなど、冬ならではの自然を感じられるさまざまな活動を展開されることと思います。活動時は、スカウトの体力、技能、体調等を考慮し、安全かつ楽しい経験ができる環境を整えてください。そのために指導者は、教育効果や安全確保をおろそかにすることなく、基本的なプログラムプロセスに沿った十分かつ綿密な計画を作成しましょう。

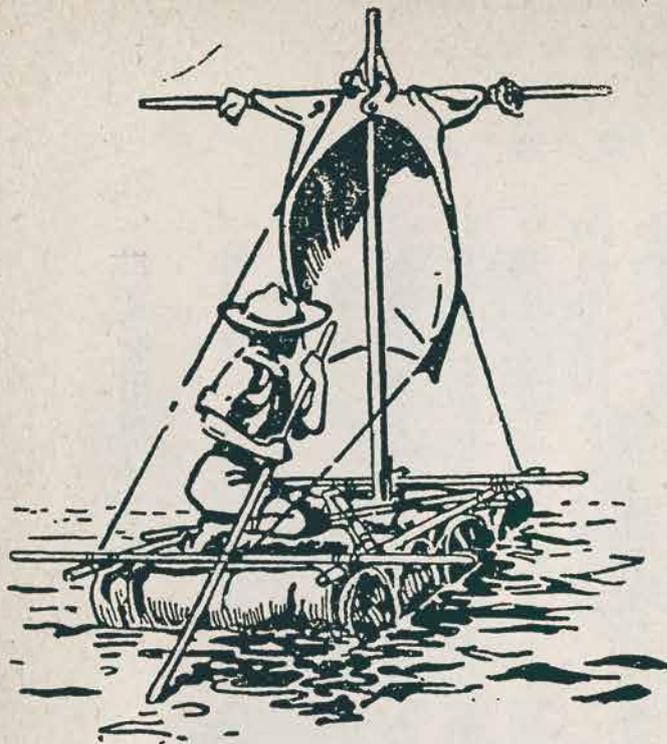
冬季は、気象条件や環境の変化が激しいことから、通常の安全対策に加え、冬季の活動に応じた念入りな対策を講じ、安全確保に努めてください。活動中は、状況に応じた具体的な指示や指導を徹底し、それでも事故が発生した際に迅速で的確な対応がとれるよう、事前の準備も行ってください。また、スカウトも指導者も安全への意識を高め、「自分のことは自分で責任をもつ」心構えの醸成に努めましょう。

活動終了後には、万が一に備えて協力要請をした緊急連絡先や関係機関(病院、警察、消防、関係県連盟等)にお礼とともに、無事に活動を終了した旨、報告をお願いします。

### ■ セーフ・フロム・ハームについて

成人指導者(18歳以上の副長補を含む)は、「セーフ・フロム・ハーム」の趣旨をご理解いただき、登録前研修(2019年度の登録に必須)に取り組むほか、各地区や県連盟で開催するセミナーへの積極的な参加をお願いします。

※本誌17頁の内容をご確認ください。



## 日本連盟創立100周年まであと3年 さらなる未来へ

1922年、少年団日本連盟の名称で創立したボーイスカウト日本連盟。

順風満帆とはいきませんでしたが、多くの先人たちの努力の積み重ねにより、今日の日本連盟があります。そして3年後、日本連盟は記念すべき創立100周年を迎えます。この節目の年を迎えるにあたり、日本連盟ではさまざまな取り組みを検討し、進めています。今号では、日本連盟の歴史を振り返りつつ、現在の取り組みについて紹介いたします。

※当記事では、出来事の紹介を中心に構成しています。

### 青年の活躍

ボーイスカウト運動の世界共通のビジョンは、「Creating a Better World(より良き社会を創ろう)」。言うまでもなく、青少年が自発的な活動を通じて、社会に奉仕できる能力と自らの人生に役立つ技能を体得することがスカウト教育の目的です。

ボーイスカウトで培う技能、考え方や姿勢は、まさしくスカウト自身が継続して努力を積み重ねた結果です。スポーツクラブなどの習い事に比べ、取り組みの結果がすぐに形に現れるものではありませんが、これこそが、現代社会において求められる「人間力」ではないでしょうか。そして、ボーイスカウトには全国、全世界に同じ目的をもった仲間がいるという大きな魅力があります。この、「仲間のひとり」であることが現代社会において重要だということは、指導者の皆さんはよくおわかりのことでしょう。

#### ▶ 全国ローバースカウト会議 (RCJ)

幼少期から異年齢の集団の中で自らの役割や存在を意識し、他者と共存して活動に取り組むスカウトたち。日本連盟には、そうした経験を積んで成長したスカウトの最終年代である全国



の18歳から25歳までのスカウトと指導者が所属する、全国ローバースカウト会議 (RCJ) があります。1955 (昭和30) 年7月時点では全国で3隊しかなかったローバースカウト (当時は「青年スカウト」) ですが、今では1,200を超す隊、約7,900人が全国で活動するまでに増えました。

各地で開催するイベントや日本連盟主催事業においてもRCJの活躍は大きく、県連盟によってはRCJの県連盟代表が青年代表理事として理事会に参画しているところもあります。また、RCJではWEBチームを編成してHPを立ち上げ、所属するRSの活動紹介や全国の大学ローバースを掲載し、全国組織として横のつながりを強化する試みも進行しています。  
<https://rcjweb.jp/>

#### ▶ 100周年の年、ローバースカウトは全員が成人に

昨年3月の民法改正により、ちょうど日本連盟が100周年を迎える2022年より、日本の成人年齢は18歳に引き下げられ、RCJ年代は全員が成人となります。この年代のスカウトと指導者が、成人としてより重い責任をもち、自覚ある行動をとることを念頭におき、育成と支援をしていくことが重要です。

日本連盟では、自身の人生や社会人として、ボーイスカウトで培って

1911年 乃木希典大将、ロンドンでB-Pと会見



1921年 皇太子殿下 (のちの昭和天皇) が渡欧し、エジンバラにてスカウトラリーを親臨。ベーデン・パウエル卿謁見



1922年 少年団日本連盟創立

1923年 関東大震災にてスカウトが奉仕活動を展開



1925年 全国的に「ちかい」と「おきて」を統一。『少年団教範』(初の「スカウティング・フォア・ボーイズ」全訳) 出版



1935年 少年団日本連盟が財団法人大日本少年団連盟に改組

1939年 山中野営場（山梨・南都留郡山中湖村）富士臨雲健児寮落成



1941年 大日本少年団連盟が他の青少年団体とともに大日本青少年団に統合される（連盟は財団法人「健志会」と名称変更し、組織の一部を存続）

1949年 財団法人ボーイスカウト日本連盟として再発足

1950年 那須野営場（栃木・那須塩原）を開設

1951年 菊、隼、不二（のちに富士）課程制定

1956年 第1回日本ジャンボリー（長野・軽井沢）開催



●初めての日本ジャンボリー。海外12か国のスカウトを招き、13,000人で開催しました。皇太子殿下をお迎えしてパレードを行うなど、日本連盟発足34年目にして最大の行事となりました。



1957年 第1回日本ギルウェル実修所開設



1964年 東京オリンピック・パラリンピックに奉仕



●各競技会場内外の参加国旗の一斉掲揚や聖火リレーコースの清掃などの奉仕参加者は、延べ8万人。

1970年 万国博覧会（大阪・吹田市千里丘陵）奉仕



1970年 ボーイスカウト会館（東京・三鷹）落成



1971年 第13回世界ジャンボリーを日本（静岡・朝霧高原）で開催



●87の国と地域から23,000人が集い、

開催された第13回世界ジャンボリー。内閣総理大臣が名誉会長を務めるなど、政府の協力を得て開催に至った大会では、台風に見舞われるなどのハプニングもありました。本大会には、皇太子（現天皇）・同妃両殿下がおいでになり、スカウトを激励されました。

1971年 第23回世界会議を日本（東京・プリンスホテル）で開催

1972年 日本連盟創立50周年

1973年 第1回日本アグリーナリー（愛知・愛知郡長久手）開催



1982年 日本連盟創立60周年



1983年 加盟員数ピーク、33万人を超える

●この年、加盟登録数は3,919こ団、331,895人となり、日本連盟の歴史において最大規模を記録しました。

1984年 第1回シニアスカウト大会（宮城・南蔵王）開催



1986年 ビーバー部門発足。

1988年 「おきて」を8か条に改正

1989年 昭和天皇大喪の礼にスカウト代表が参列

きた経験をどのように活かせるかローバースカウト自身に考えてもらう機会として、「スカウトと社会をつなぐ場所」という事業を開催しています。ボーイスカウトでは当たり前でできることが、社会に出たら自分の強みになることや、その逆もあるかもしれないということ、さまざまな企業や団体の方から教えていただきます。日本連盟は、100周年に向け、より多くの企業や団体とともに、青年世代が自身の将来を考える機会を提供していきます。

## キーワードは「活動的で自立したスカウト」

日本連盟では、スカウト運動の根幹である青少年育成について、連盟創立100周年に向けた長中期計画を策定し、推進しています。この計画の中心が、「活動的で自立したスカウトを育てる」ということです。対外的にはボーイスカウトへの認知を広げるPR活動を行い、組織拡充を目指して地域社会との連携強化を展開します。また、内部にあっては、コミッション活動の充実を図ることで運営強化につなげ、教育面では「スカウト教育法」を活かした活動を充実させるために、スカウト各部門の見直しを進めています。

## 100周年記念事業の計画

日本連盟では、創立100周年に向けた準備委員会を設置し、連盟創立100周年記念事業のさまざまな計画を進めています。100周年の年である2022年に開催する事業のほか、社会とより強くつながるために100周年までの3か年で推進していく事業の展開などを予定しています。また、100周年を迎える2022年には、記念大会として第18回日本スカウトジャンボリーを東京で開催します。

### 特別記念事業【100周年までに実施する事業】（抜粋）

- 第18回日本スカウトジャンボリー（100周年記念大会）
- ボーイスカウト版子ども食堂
- 記念ミュージアム
- 記念表彰
- 全国の大学にローバー隊設立
- 100周年記念史の発行
- 加盟員拡大および中途退団抑止
- 100周年記念章の着用



### ▶ 100周年ロゴ

本誌（2018年5月号）でご紹介しましたが、100周年記念ロゴを制作しました。

100周年記念事業計画のひとつとしてすでに皆

1990年 制服の改定



1993年 全国ローバースカウト大会(北海道・札幌)開催



1995年 全部門への女子加入承認

1997年 阪神淡路大震災の復興支援活動奉仕

●震災直後より、地元のスカウト関係者のほか、全国から奉仕活動のために参加者が駆け付け、物資の貸し出しや避難所生活支援、炊き出しや入浴支援など、さまざまな救援活動を展開しました。



1997年 日本連盟創立75周年中央式典(東京・日比谷公会堂)開催

1998年 長野オリンピック・パラリンピック奉仕

●奉仕者の一部は合宿体制で取り組みました。



2005年 年次全国大会開催を開始



2010年 日本連盟、公益財団法人へ移行  
2011年 東日本大震災復興支援活動奉仕



2011年 ボーイスカウト会館を東京・本郷に移転



2012年 日本連盟創立90周年

●記念事業として4つのプロジェクトを実施。前年の震災を受け、それぞれの隊で防災教育にも取り組みました。



2012年 全国ローバースカウト会議(RCJ)発足

2015年 第23回世界スカウトジャンボリーを日本(山口・阿知須きらら浜)で開催



●日本で2回目の開催となる世界スカウトジャンボリー。155の国と地域から34,000人が集まり、約2週間のキャンプ生活を通じてさまざまな体験をし、国際交流を図りました。

2016年 高萩スカウトフィールドの開拓を兼ねたRCJ野営大会「RCJクエスト」を開催

2017年 山中野営場を閉場



2017年 大和の森 高萩スカウトフィールドをグランドオープン



●山中野営場に代わる新たな野外活動の場としてオープンした高萩スカウトフィールド。グランドオープンと日本連盟創立95周年を記念し、全部門が参加できる「日本ジャンボレット高萩」を開催しました。

2018年 スカウト会館を東京・下井草に移転



さんも実施いただいているのが、PRの一環として、制服や自分の持ち物などに100周年記念章(ワッペン)を縫着することです。皆さんの制服左胸(ビーバースカウトは右袖)には、この記念章が縫着されていますか。「ボーイスカウトが2022年に100周年を迎える」ということを、広く世の中に発信していくツールのひとつとして、ぜひ正しい位置に縫着した制服を着て、活動に参加しましょう(この記事は有償にて頒布しています。ご希望の方は所属県連盟にお問い合わせください)。

また、日本連盟ホームページのダウンロードセンターでは、ロゴの使用についてのガイドライン、ロゴデータを掲載しています。名刺や資料、そのほかオリジナルグッズなどにもぜひご活用ください。

### ▶ 100周年ロゴが宇宙に!

昨年の夏に開催した第17回日本スカウトジャンボリーでは、ボーイスカウト・アンバサダーでもあるJAXA宇宙飛行士の野口聡一さんに、この100周年記念章の特別版ワッペンを贈呈しました。今年の年末から約半



年間、自身3度目となる国際宇宙ステーション(ISS)での長期滞在を予定している野口さん。スカウトも指導者も区別なく、ボーイスカウトの間が身につけているものと同じ100周年ワッペンを、宇宙に持って行ってください。

### 未来に向かって

日本のボーイスカウトは、加盟員減少の状況が続いています。ですが、残念ながら退団者がいる一方で、新たに活動に参加する子どもたちは年間約8,000人います。年間でこれだけ新たに参加する人が増え、全国で活動を展開している団体は、ほかにはないのではないのでしょうか。

時代の変化とともに、子どもたちの家庭環境や生活スタイルも多様化していますが、スカウト運動の目指すところは変わることなく、全国で活動しています。ボーイスカウトが100年続き、その存在が認められることを、今活動している私たちが誇りに思い、次の世代へ伝えていくこと、発展させていくことを使命とし、それぞれの地域と協力しながら未来に向かって進んでいきましょう。

# ニッポン全国 元気団 紹介

## 神奈川県 川崎第43団

関東地方南西部に位置し、港町横浜、箱根駅伝や古都鎌倉、江の島などで有名な神奈川県。その北東部、政令指定都市である川崎市に、スカウト数が100人を超える川崎第43団がある。



## 発団50年。伝統を受け継ぐ活動と団結力

### スカウト100人超え

1968(昭和43)年、川崎第39団カブ隊およびボーイ隊の第2隊として百合丘に誕生し、翌年4月に分封して、正式に川崎第43団として活動がスタート。

かつては団ハウスと団のキャンプサイトがあったが、今から15年ほど前にそれぞれの土地を貸主に返却した。当時、団ハウスがなくなることは痛手に思われたが、それを逆手に取り、集散や活動をあえて人目につくところにするなど、常に前向きに工夫と努力を惜しまなかった。その結果、スカウトは減るどころか徐々に増え、現在ではスカウト108人、隊指導者48人の大所帯に。

近年は、団委員会とビーバー隊とが連携して募集活動を展開。市の協力を得て地域の小学1~2年生に学校から案内を配布していただくほか、春は入学式、秋は区民祭で案内チラシを手渡しで配り、数週連続で毎週末に体験プログラムを実施している。また、団のWebサイトを充実させ、各隊の活動後にはその日の内容を写真つきでブログなどにすぐに掲載し、活動の見える化に努めている。それがスカウトの保護者にも楽しさや安心感を与え、口コミなどに繋がる。実際に、新規入団者は案内チラシと口コミ、Webサイトからが1/3ずつだとのこと。



### 本気で取り組む活動

都会にも、川や山にも近い立地が、活動を豊かにしている。ビーバー隊では、自分たちで採ったドングリでクッキーを作ったり、川で魚を採ったり、思う存分自然を体験する。カブ隊は年に2回の山でのハイクに加え、長距離

ハイクや自然観察ハイクなど活発な野外活動が多い反面、組集会などもきちんと実施。ボーイ隊ではおよそ2か月に1度、キャンプやハイクを実施。7泊8日の夏季キャンプや年に2回のオーバーナイトハイクなど、スカウト技能を高める活動に日々取り組んでいる。特に1週間に及ぶ夏季キャンプでは、長期だからこそ自由な時間もあり、スカウトからも好評。ベンチャー隊は個人プロジェクトに加え、ボーイ隊のオーバーナイトハイクの計画や、地区行事などへの積極的な関わりを大事にしているという。ローバー隊になると、各隊奉仕のほか、自分が熱中できることにそれぞれが取り組む。



さらにボーイ隊以上は、毎年地区で行うアメリカ・ボルチモア市(川崎市の姉妹都市)との交流に参加することもでき、国際交流も盛んだ。各隊、少しハードな活動をすることもあるが、指導者が活動に本気で取り組み、本気で楽しむ様子を見て、スカウトたちもそれについてくる。これも川崎第43団の伝統。

### 地域の輪を大切に

有意義な活動のためには、資材や場所の確保も重要。地元の香林寺と付属幼稚園から、団倉庫の設置や活動場所の提供といった協力を得ている。スカウトは除夜の鐘つきやお祭りで奉仕しており、両者にとって良い関係を保っている。このほか、ボーイスカウト以外の青少年団体とともに構成する川崎市の青少年育成連盟の一員として、市で開催するさまざまな行事にも奉仕するなど、地域との関わりも深い。

お世話になっている施設等だけではなく、近隣団や他の青少年育成団体との連携によって、より地域に根差した活動が行えるのだ。

### 団結力を生む仕組み

こうした活動を経て育っていったスカウトのOB・OG会や、保護者のOB・OG会である「よんさん ゆりの会」がある。スカウト活動から離れてもなお、親睦を深め、さまざまな形で団への支援を続けてくれるという。

さらに、川崎第43団には独自の仕組みがある。各隊の活動をサポートする保護者のまとめ役である「父母キャップ」。保護者のちょっとした質問や相談を集約したり、父母会(保護者会)の進行役を担ったりする。

また、お祭りなどで模擬店を出すなど、団の活動資金に役立てる「プロジェクト」を実施し、隊を越えてスカウト、指導者、保護者がひとつになる機会も大事にしている。

### 経験を活かして

野外活動を軸にした充実した活動と、全員が一丸となる団の仕組み、地域との友好な関係が、川崎第43団を築いてきた。しかし、「人数が多いこと=充実ではない」という団指導者の皆さん。充実した活動は、それぞれの隊が担うべき役割を全うし、質の高い活動を行うからこそそのもの。各隊の指導者が熱心に、かつ楽しむことが大切だという。

50周年を機に就任した団委員長も、同団で育ったスカウトOB。団委員長は「これからも保護者の皆さんとともに、子どもも大人も楽しめる活動を。より地元根差した活動を推進したい」と柔らかな口調で語られた。新たな団委員長のもと、伝統を守りつつ、より充実した活動を重ね、川崎第43団は今後も成長し続けていこう。



お話を伺った皆さん。寒空の下、丁寧にいろいろなお話をしてくれました。



OBインタビュー

# 「からだでおぼえたものは からだからはなれない はなれない」

(サトウ ハチロー)

スカウト経験は、その後の人生にとって大きな財産となります。映画監督とパティシエ、分野は違えど、それぞれ第一線で活躍する先輩2人に、スカウティングとお仕事の話伺いました。

映画監督  
菊地健雄さん



1978年、栃木県足利市生まれ。大学卒業後、映画美術学校高等科在籍中に助監督に。12年間の助監督時代を経て、2015年、故郷を舞台にしたオリジナル脚本の「ディア・ディア」で長編映画監督デビュー。さまざまなジャンルの監督作品はいずれも注目を集め、2018年11月公開の「体操しようよ」（主演・草刈正雄）では、ラジオ体操会を舞台にした心温まるホームドラマを監督し、感動を呼んだ。作中にスカウトたちをさりげなく登場させている。

## スカウティングで得たこと

足利第1団にビーバーからローバーまで所属し、シニア（現ベンチャー）では富士スカウトになりました。

当時はスカウトの人数も多く、けっこう厳しく鍛えられ、ストイックに活動をしていました。おかげで、心身ともにだいぶ忍耐強くなりました。

キャンプなどでみなさんも体験しているでしょうが、物事がなかなか思うよういかない場合は、みんなでアイデアを出し合ったり、いろいろ工夫したりすることも学びました。

ぼくの場合は中学、高校とクラブ活動（バレーボール）をしていて、スカウト活動と二足のわらじ状態。中学では生徒会長もしていたので、二足以上ですね。そのころから映画もよく観ていたんで、けっこう忙しくしていたのですが、なんとかやりくりしてうまくこなしていたと思います。この力は、仕事でもロケハン



[編集注：撮影場所を探すこと（ロケーションハンティング）]や撮影現場での演出や撮り方の工夫など、今でもとても役に立っています。

ボーイスカウトの特徴は、異なる年齢の子どもたちの集団生活ですよ。そこで欠かせないのがリーダーシップ。ぼくも学年が上がるごとに組や班での役割が変わって、リーダーシップを学ぶことができました。

映画制作では50人を超すスタッフが関わっているのですが、ぼくのリーダーシップが少しでも発揮できているのであれば、足利第1団の仲間たちに感謝です。

## 人とのかわり大切なこと

異なる価値観を認め、多様性を受け入れることが大事。それはボーイスカウト以外でもいえると思います。

今回の映画は、草刈正雄さん演じる元サラリーマン、佐野道太郎の定年退職後の悲哀と感動を描いたもので、ひよんなことから参加した地元のラジオ体操会の仲間たちとの間で、さまざまなドラマが起こります。この体操会の会長が、いい塩梅でリーダーシップを発揮しています。ぜひ、きたろうさん演じる体操会の会長、神田義彦に注目してほしいです。

神田さんはとある海辺の町の住人。毎朝6

時半に公園で集まる近所の人たちを前に、必ず、「では、そこそこ元気に始めましょう!」と声をかけ、ラジオ体操を始めます。この神田さんの掛け声のもと、みんなが毎朝、楽しく体操を続けます。もっとも、生真面で、しかも時間が余っている佐野さんが、体操動作のマニュアルを作り、会のユニフォームまで提案して反発を買ってしまうこともありましたが……

実はこの神田会長には、地元のボーイスカウトの団委員長という設定があります。便利屋を営む彼の仕事場は、ロープやテントなど野外活動の用品があふれていて、スカウトハウスを兼ねています。地元の老若男女が集まれる場所を提供して、みんなの声を傾ける、そんな存在です。

## 作品に活かしたいこと

指導者に恵まれたこともあって、ぼくはスカウト活動から、忍耐や創意工夫などたくさんのことを学びました。中でも、この周りを受け入れ活かすリーダーシップを大切にしています。

神田さんのように多様性を受け入れるリーダーシップは、時にはフォロワーシップとして現れることもあります。決して簡単ではありません。この、みんながそれぞれ幸せになれるコミュニケーション能力を、子どものころから少しずつ身につけられるといいなと思います。そのチャンスのひとつがボーイスカウトなんじゃないかと、撮影をしながら思っていました。

そして自分のことを振り返ってみると、年齢や学校が異なる仲間と一緒にがんばった、隊での活動はもちろん、日本ジャンポリーなどで外国のスカウトとキャンプをしたことがいい経験になったなと思います。それこそ多様性を体験する絶好の機会でした。

監督として、作品を通じて感じていただきたいことはたくさんあるのですが、今回の作品では、このあたりに注目していただくと、キャンプでもハイキングでもないラジオ体操の作品になぜボーイスカウトを登場させたのかがわかっていただけるかと思います。

これからも、スカウティングで得たものを活かし、みなさんに見ていただけるすてきな作品を監督していきたいと思っています。

Photo: 菊池陽一郎

# 青木定治さん

パティシエ  
あおき 定治 さん



1968年東京生まれ、フランス在住。1989年に単身でパリに。有名店でキャリアを重ね、2001年にパリ6区サンジェルマンに「パティスリー・サダハル・アオキ・パリ」を開店。その後も店舗を増やし、商品のモダンさと伝統的な味が認められ、フランスのパティシエとして人気に。2007年に世界最高の菓子職人組織のメンバーになるほか、多くの受賞歴を誇る。フランストップ5ショコラティエにも選出されるなど、今では世界で注目される日本人パティシエに。

5歳か6歳くらいのときに兄についていったのがきっかけで、東京都内でカブスカウトから始めました。親の転勤で東京から福岡、また東京と3つの団を渡り歩きました。

なかでも福岡県の春日第3団での活動は忘れられません。駐屯地の近くだったので自衛隊に協力してもらい、熊本の団と合同で2週間くらいの自衛隊式のキャンプをした記憶があります。朝起きてひたすらなわとび訓練をしたりして、当時は「なんでこんなことをするんだ」と感じていましたが、おかげで途中であきらめられない「忍耐力」が身につきました。これは今でも役に立っています。私の仕事は、喜んでいただくために人に奉仕することだと思うんです。そのためには人の何倍もできないといけないので、努力を続けます。

## 夢ではなく、目標をもつ

スカウト時代から料理は得意な方でしたが、当時は調理師やケーキ屋になろうとは思っていませんでした。食道楽の父や親類に飲食業関連の人が多かったことが縁となって結果的にこの仕事に就きました。

そもそも私は夢をもたないんです。夢という手の届かないことのような気がするので、

すべて目標にして、クリアすべきことだと思って取り組みます。面倒なことや忍耐がいることでも、それは目標を達成するプロセスとして大切なことだと考えるんです。ちなみに、設定するのは「70歳までにこれができている」とかそういう目標です。ずっと自分のペースで生きていきたいと思っているので。

## 自分自身がライバル

私には「師匠」がいないので、すべて自分でやってきました。フランスにやってきたときも当時パリなんて全然流行っていなかったし、ましてケーキも全然流行っていなかった。それでも、自分がやりたいことだから目標に向かって努力しました。

若い人に教えるときも、独立したときに役立つようには考えないです。近道を教えることは、その人がやるべきことを奪うことになりかねないですし。

スカウト時代、「自分に負けるな」と教えられました。当時の隊長が順位をつけない人で、どのスカウトもなにかしらの最優秀になれました。運動が苦手な子がハイキングで一番遅くても、「最後までやり切った。最優秀」とか。

そのとき、1番ではなくても、やりぬくこと

に価値があると気がついて。それから、「自分がライバル」と思うようになりました。特にこの業界は人と同じではダメなので、つらくても極めるとか、目標を達成するために自分を高めるための忍耐は、今でも惜しみません。

## いつも相手のことを考えて

日ごろから、困っている人に手を差し伸べるタイミングや方法を大切にしています。誰かが困っているとき、やってあげるの簡単かもしれないけれど、それって続かないんです。きっかけを作って、大変でも自分で状況を変えられるように手助けをすることが大切だと思っています。カブ隊でも、くまスカウトがうさぎスカウトの世話をしますよね。後輩育成のときにもこういうことを伝えます。

ボーイスカウトの活動では人とかかわり合いが深かったと思います。仲間が存在が大きかったですね。絶対に一人ではできないようなことでも、班で挑戦したらできる。大変なことを一緒にやってきたからか、今でも当時のスカウト仲間のことは覚えています。「本当の仲間」というか……

今、活動している指導者やスカウトの皆さんも、仲間とともに訓練を積んで、自分の足で得たものや目で見た情報を大切に活動してください。インターネットで得られる知識や人の評価ではなく、自分が考えた評価を大切に。自分がしてみたいことや気になることを一つひとつ制覇してほしいです。

そして、奉仕とはなにかを考えてほしい。余っているものを人にあげるだけでは奉仕とはいわないですよ。自分が苦しい状況であっても誰かと共有できるとか、他者を優先できるように人になってほしいと思います。



## 試してみよう!



### キャンプでおなじみの飯ごう。これを使ってケーキが作れる!?

ケーキ作りは意外と簡単。基本は覚えやすい[1:1:1:1]。バターと卵、小麦粉に砂糖が同量ずつあれば、ケーキができるんです。

(1) 卵に砂糖を入れて、しっかり混ぜ合わせる。

- (2) バターを溶かして加えて混ぜる。  
 (3) 小麦粉を入れて混ぜる(こねすぎないように注意!)。  
 (4) 飯ごうにふたをして焼く。  
 ※飯ごうには最初に分量外のバターを塗っておきましょう。焼き上がりにくっつくのを予防します。  
 飯ごうの代わりにフライパンとふ

たがあれば、厚めのホットケーキができます!

### 【応用】フルーツと砂糖があれば、ジャムもできる!

これも基本は[1:1]。飯ごうにフルーツと同量の砂糖を入れて火にかけると、簡単にジャムができます。

# 2019年の主な行事

(2018年12月15日時点)

## 2019年度日韓スカウト交歓計画 交流プログラム

1月12日(土)～14日(月・祝) / 神奈川県・川崎市青少年の家

日本と韓国のスカウトが、交流を通じて相互の国の歴史や社会、文化、同年代の考え方などを知り、友好関係を築く機会として開催。例年、日本連盟は冬に「日韓スカウト交歓計画(韓国スカウト招聘)」を、韓国連盟は夏に「韓日スカウトフォーラム(日本からの派遣)」を開催します。



## 2019年度全国大会

5月25日(土)～26日(日) / 鹿児島・鹿児島市民文化ホール、他

社会への本運動の理解を広めるとともに、加盟員の研鑽の場、日本連盟と参加者の双方からの情報交換の場として全国大会を開催します。

## 第24回世界スカウトジャンボリー

世界スカウト機構(WOSM)主催事業

7月22日(月)～8月2日(金) / アメリカ・ウエストバージニア州

4年に1度開催される世界スカウトジャンボリー。この大会は、世界最大級の青少年キャンプ大会です。前回は2015年に日本で開催し、今回はアメリカで開催されます。世界中から参加するスカウトと野営生活を共にしながら、さまざまなプログラムに参加します。



## スカウトの日

9月16日(月・祝) / 全国

毎年9月の第3月曜日は「スカウトの日」です。「スカウトの日」は、全国のスカウトと指導者が地域社会への奉仕活動をはじめとしたさまざまなスカウト活動を、全国各地域において一斉に展開することで、地域社会への貢献とともに、スカウト運動が地域社会に根ざした実践活動であることを広く社会にアピールすることを目的としています。



## RCJ フォーラム 2019

9月または10月 / 調整中

## 難民支援衣料回収プロジェクト2019

春:3月1日(金)～6月30日(日)、秋:9月1日(日)～10月31日(木)  
(予定) / 全国

世界の難民の人々の半数以上が18歳未満の子どもです。この現状を受け、株式会社ユニクロと UNHCR と連携し、難民支援のための衣料回収プロジェクトを春と秋に実施します。衣料の回収にご協力ください。



# 2019

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

# 2020

## 2018年度富士スカウト代表表敬

3月(予定) / 東京

富士スカウト代表表敬は、ボーイスカウト日本連盟創立60周年記念事業として始まり、約40年継続して実施しています。2018年度も文科省、首相官邸、および東宮御所への表敬を予定しています。



## 国立公園カーボン・オフセットキャンペーン

世界スカウト環境プログラム (日本連盟認定プロジェクト)

4月～12月 / 全国

全国の国立公園を訪れて、その貴重な自然の中で環境について学び、公園来場者に対して学習したことを伝える環境啓発活動を行います。活動時期などは、実施希望の隊、団、県連盟などからの申し出により、各施設と調整します。



## 全国防災キャラバン2019

4月1日(月)～12月31日(火)(予定) / 全国

「そなえよつねに」の精神で、防災について考える機会を一般の方々に提供することを目的として、全国のイオンモール等で「全国防災キャラバン」を実施します。全国キャラバンは、イオングループの協力により今年で5年目となります。



## 富士特別野営2019

8月 / 日本連盟・那須野営場および大和の森 高萩スカウトフィールド

※実施時期、場所ともに現時点での予定

## 第62回ジャンボリー・オン・ジ・エア (JOTA)

## 第23回ジャンボリー・オン・ジ・インターネット (JOTI)

世界スカウト機構(WOSM)主催事業

10月18日(金)～20日(日) / 全世界

[JOTA] 世界スカウト機構が主催する公式国際行事で、スカウトがアマチュア無線行事に参加し、電波を通じて国内各地や外国のスカウト仲間と交信し、お互いを理解し、知識と友情を深めることを目的としています。



[JOTI] 世界スカウト機構が主催する、世界のスカウトの公式国際行事です。この「JOTI」は無線の代わりに、インターネットを利用して、JOTAと同じく、情報を交換して友好を深めようとするものです。

※詳細、名称、ロゴ等は今後変更になる場合があります。

## 2019年度 国際交流事業計画

2018年12月15日現在

## ●公募により実施する海外派遣事業

2019年度の派遣事業として日本連盟が募集要項を作成し、公募により派遣員を選考し実施する予定のものは下記のとおりです。

No.	事業名	派遣予定期間(大会期間) 派遣先(主な訪問先) 派遣予定人員	派遣の概要	募集対象				日連 推薦締切	
				BS	VS	RS	L		

BS…ボーイスカウト VS…ベンチャースカウト RS…ローバースカウト L…指導者

## ■個人による海外派遣

1	2019年度 カンダーシュテーク 夏季野営スタッフ派遣 ※	奉仕期間 6月上旬～9月上旬(3か月) スイス/カンダーシュテーク国際スカウトセンター 若干名	カンダーシュテーク国際スカウトセンターにおいて、夏季野営スタッフとして奉仕する	○ ○ ○ (19歳以上 35歳未満)	締切済	自己負担額
2	2019年度 国際キャンプスタッフ計画 派遣 ※	例:6月上旬～9月下旬(2～3か月) アメリカ合衆国各地(各地方協議会野営場) 若干名	アメリカ連盟各地方協議会野営場において、夏季野営スタッフとして奉仕する	○ ○ ○ (19歳以上 30歳未満)	1/20	自己負担額
3	2019年度 スカウト特別海外派遣 (霞会館補助事業)	個人プロジェクトによる 個人プロジェクトによる 最大2人	個人プロジェクトによる	○ ○ ○	4/5	補償 会館 助成
4	2019年度 スカウト・オーストラリア 短期留学(学習旅行)派遣	例:7/22～8/29(夏休み期間) オーストラリア(メルボルン、シドニー、パース、キャンベラ、ブリスベン等) 1～2人	オーストラリアの高校に短期留学(学習旅行)し、スカウト活動に参加する	○	4/5	自己負担額

## ■グループによる海外派遣

1	2019年度 フィルモント派遣	例:7/20～8/8(7/23～8/3) 県連盟の計画による アメリカ合衆国/ニューメキシコ州 シマロン グループ編成県連盟による	アメリカ連盟ハイアドベンチャーベース・フィルモント野営場のトレイルに県連盟で編成したグループで参加する	○ ○ ○	締切済	自己負担額
2	第24回 世界スカウトジャンボリー派遣	参加隊:7/21～8/5、IST:7/19～8/6 アメリカ合衆国/ウェストバージニア州サミット・ベクテル保護区 スカウト1,008人、指導者114人、IST・CMT 113人 計1,235人	4年ごとに開催される世界スカウトジャンボリー大会に参加する	○ ○ ○ ○	締切済	自己負担額
3	2019年度 韓日スカウトフォーラム派遣	韓国連盟と調整中(8月実施見込み) 韓国 スカウト18人、指導者2人 計20人	両国スカウトによるスカウトフォーラムと地元見学またはホームステイ等の文化体験に参加する	○ ○ ○	4/5 (予定)	金額 負担 額
4	2019年度 CJK ベンチャープロジェクト 派遣	3か国連盟で調整中(8月実施見込み) 韓国 スカウト9人、指導者1人 計10人	台湾、日本、韓国のベンチャースカウトを対象としたプロジェクトで、2019年度は韓国で開催される	○ ○ ○	4/5 (予定)	自己負担額
5	第21回オーストラリア ローバームート(CBR Moot) 派遣	12/30～2020年1/10 オーストラリア/キャンベラ ローバースカウト9人、指導者1人 計10人	第13回アジア太平洋地域ローバームートとしても開催される	○ ○ ○	6/10 (予定)	自己負担額

## ■国際協力プログラム

1	2019年度 CJK プロジェクト派遣 ※	2020年2月中旬ごろ調査派遣を調整中 カンボジア(調整中) 未定	台湾、日本、韓国の3連盟ローバースカウトがカンボジアで国際協力プロジェクトを行う	○ ○ ○	未定	自己負担額
---	--------------------------	---	--	-------	----	-------

## ●国際会議および指導者の研修のための海外派遣

1	第3回 世界スカウト教育コンgres	12/7～10 ブラジル/リオデジャネイロ 若干名	ブラジルで開催される第3回世界スカウト教育コンgresに代表を派遣する	○ ○ ○	関係会議を通じて案内(公募はしません)	
---	-----------------------	---------------------------------	-------------------------------------	-------	---------------------	--

## ●日本連盟主催外国スカウト受入事業

No.	名称	期間	内容・招へい国	対象	
1	2019年度 日韓スカウト交歓計画	2020年 1/11～20 (調整中)	韓国のスカウトと交流プログラムに参加する	BS、VS	韓国から40人程度、日本からは交流プログラム参加者として40人程度
2	2019年度 オーストラリア短期交換留学 スカウト受入	11月下旬～ 2020年1月 下旬	オーストラリア連盟よりスカウトを受け入れる。日本の高校に短期留学をし、スカウト活動に参加する	高校生年代のスカウト	オーストラリアからベンチャースカウト1～2人

※印は海外派遣貸付金対象事業

企業や団体とのタイアップによる  
コラボレーションバッジ

# カブスカウト対象 新チャレンジ章



山梨・甲府第6団

昨年の春から数量限定で登場した3種類の新しいチャレンジ章。全国の隊で展開していただき、多くの反響をいただいています。今号では、全国から届いたスカウトや指導者の皆さまの声を抜粋してご紹介します。



## フィールドマスター 宣言!

- 正しく使えば、怖くないし、楽しい。
- 自分や友だちに怪我をさせないように注意する。
- ぼくはナイフなどのツールを「人に向けない」「ふり回さない」などを守ります。



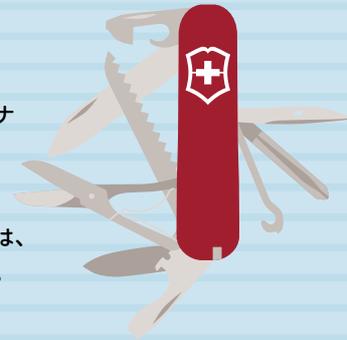
兵庫・姫路第6団



大阪・守口第2団

### スカウトからの声

- 早くボーイ隊員になって自分のナイフを持ちたい。
- メツチャカッコいいー!
- ビクトリノックス・マルチツールは、いろんなものが付いていて便利。



### 指導者からの声

- ビクトリノックスのマルチツール(ナイフ)をカブスカウトに見せ、実習を通じて正しい使い方と便利さを教えることができた。
- 指導者、スカウト、保護者が一緒になって取り組むことで、ナイフについての理解が深まった。
- 個人装備としてナイフを所持させるのは躊躇してしまったので、リーダーのナイフ7丁を交代で体験させ、カッターナイフを隊備品として購入、全員に体験させるにとどめました。刃物携帯はスカウトの憧れのひとつですので、ボーイ隊への上進につながるプログラムになるようにしました。



東京・港第1団

## 既存プログラム、 バッジへの取り組み奨励

これまでに届いた報告では、それぞれ単体でプログラムを実施するよりも、隊の年間計画のプログラムと連携させたり、他のチャレンジ章と一緒に挑戦したりする隊が数多くありました。

チャレンジ章は、家庭や組の活動として挑戦することができます。今回のプログラムについても同様です。また、既存のチャレンジ章と関係が深いものもあります。新たなプログラムだけにとらわれず、さまざまな活動と関連づけた取り組みを展開してください。

平成30年度の「新チャレンジ章」の実施報告フォームは以下のとおりです。皆さまからの報告をお待ちしております。



フィールドマスター  
<http://ur0.link/O1D9>



セーフティ  
エキスパート  
<http://ur0.link/O1Dg>



フォレスト  
ガーディアン  
<http://ur0.link/O1Dp>



## セーフティーエキスパート宣言!

- 危険なところにはひとりではない、ルールを守る。
- 小さな友だちを守ってあげます。
- 1週間に1度、家族みんなで安全の日を決めて、確認する。



神奈川・川崎第46団



山梨・甲府第6団

### スカウトからの声

- ・いつも慣れている場所に、危険があると思わなかったけれど、もう一度確かめることの大切さを知りました。
- ・自分が気をつけるだけでなく、周りの人にも教えてあげないといけないと思った。
- ・安全についてみんなで話したことがなかったなので、楽しく学習できた。



### 指導者からの声

- ・今回は「セーフティーエキスパート」単体で実施したが、既存のチャレンジ章である「災害救助員」や「案内」と絡めてもおもしろそうだった。
- ・3回の活動の中で順次履修していましたが、新チャレンジ章だけではなく、通常のチャレンジ章にも取り組む姿勢が見られ、活動が活性化したと思います。
- ・市内ハイキングをして、各組に安全について発表させる形式を取りましたが、普段、意識しないことに着目して話し合うのが新鮮だったようです。いい経験になりました。



## フォレストガーディアン宣言!

- 僕は、自然を大切にしたい、FSCマークもたくさん見つけて、いいフォレストガーディアンになります。
- 紙の無駄遣いをしないでFSCマークのついているものを使う。
- ノートや鉛筆など、まだ使えるものは最後まで使い切る。



大阪・大阪第70団



愛知・岡崎第1団

### スカウトからの声

- ・FSCの商品を学ぶことができ、次から買い物が楽しみだ。
- ・お店にFSCマークがついた商品を探しに行ってみたが、意外に少なくて探すのが大変だった。
- ・今年度限定のチャレンジ章に挑戦できて嬉しい。さっそく制服につけたがキラキラ光っている。

### 指導者からの声

- ・指導者も新たなチャレンジで、スカウトとともに新鮮な気持ちで実施することができました。今後もこのようなチャレンジ章がたくさんできることを望みます。
- ・スカウトの家庭でFSCマークを探して家族との会話を通じて活動できたことで、保護者の参画とスカウト活動へのさらなる理解を得る機会となりました。
- ・野外活動でいつもお世話になっている自然。年間の集会を通じて「自然を守ろう」と意識していますが、森と私たちの生活がこんなにも結びついていることを再認識させられた集会になりました。

今後も企業や団体と連携し、挑戦するスカウトがさまざまな気づきや学びを得られるよう、多様なテーマで開発していきます。全国の指導者の皆さまからの積極的な申し込みをお待ちしております。

右記のとおり新しいチャレンジ章を公開予定です。右記日程をご参照いただき、日本連盟ホームページの特設サイトからご確認ください。

※数量限定につき、申し込み状況によっては、ご希望いただいてもパッケージをお送りできない場合がございます。あらかじめご了承ください。

※翌年度の取り組みの参考にしますので、パッケージが届きましたら11月末までに活動し、実施報告をお願いいたします。

#### [予定]

サイト公開  
2月上旬

応募期間  
2月6日(水)～2月20日(水)

結果通知  
2月28日(木)までに順次

パッケージ発送  
3月末までに順次

(公社) 国土緑化推進機構「緑の募金」助成事業

# しぜんとあそぼディキャンプ 2018

in 高萩スカウトフィールド



日 程：2018年11月19日(月)、20日(火)、22日(木)  
場 所：日本連盟・大和の森 高萩スカウトフィールド  
参 加 者：高萩市内2校の小学4年生と6年生 約180人

地元小学生を招いての自然体験活動教室。4年目となる今回は、高萩スカウトフィールドをリスや小鳥の集まるより豊かな森に育てていく試みとして、どんぐりや桜の植樹にも取り組みました。

19日に行った開会セレモニーには、高萩市から大部市長、茨城県から教育庁の小沼参事ほか、市内各小学校の校長先生など多くの来賓にお越しいただき、植樹のためのスコップ入れの儀などを行いました。

各日、50~65人ずつ地元高萩市の小学4年生と6年生が授業の一環として参加し、10人前後の班に分かれてネイチャートレイル、火起こし・テント張り体験、どんぐりと桜の植樹に挑戦しました。

移植ごて(片手で持つ小型シャベル)でやさしく植える小さなどんぐりの苗は、明治神宮の森を守り育てているNPO法人響から提供いただいたもので、響の佐藤



理事長ほかスタッフの方々が子どもたちへの指導に来ていただきました。

また、公益財団法人日本花の会からいただいた大人の背丈ほどある桜の苗は、大きな穴にスコップで大量の土を入れながら植える汗かき作業。子どもたちは隣の班と競い合いながらスコップ作業を楽しんでいました。



さまざまな自然体験に加えて、どんぐりや桜の苗を植えることで、参加した地元子どもたちにこの「大和の森」に愛着をもってもらう機会となりました。なお、今回植えた桜は順調に育てば5年ほどで花が咲く見込みです。



運営の中心となって子どもたちにプログラムを提供してくれたのは、全国から有志が集まったローバースカウト。一緒にあそびながらいろいろ教えてくれるお兄さんお姉さんとして、子どもたちから頼りにされていました。また、今回の植栽活動のために、野営場の整備や植樹用の穴掘り、土の運搬などの諸準備には茨城県連盟から多くの指導者の方にご奉仕いただきました。



# 日本連盟創立100周年に向けて ボーイスカウト再興への道

## シリーズ(6) 日本連盟事務局移転の意図



東京都心部の文京区本郷に7年間置いた日本連盟事務局を、2018年10月、都心部からやや西の杉並区下井草に移転しました。東京駅や羽田空港からの距離は延び、各地からお越しいただくには少しご不便をおかけすることになります。「財政難の時期にお金をかけて新しいところに引っ越し?」「本郷のビルは売却?」などのご質問をいただくこともありますので、今回はこの移転の意図につきご説明いたします。

### 登録料改定に伴う自助努力



東京・文京区の後楽園 SAJビル

日本連盟の財政改善のため、2019年度より加盟登録料を値上げさせていただくことになりました(本紙25頁に関連記事)。もちろんこの改定の是非から時期や金額等については、財務委員会をはじめとする日本連盟の諸機関で慎重な検討を重ねてきました。

全県連盟に、2022年の100周年に向けた登録人数の目標設定をお願いし、加盟員数の減少の流れをくい止め、少なくとも検討の基礎となった2017年度と同等の10万5千人台までの回復を目指すこととし、その人数に基づいてある程度安定的な財政状況を実現し得る額として、2019年度から新たな加盟登録料の導入を決めました。

あわせて、当然ながら値上げ幅を最小限に抑えるべく、日本連盟の財政に関するさまざまな改善の取り組みを実施することとしました。『日本連盟100周年財政ビジョン提言書』の中では、「日本連盟自助努力による経済効果策」の中の最大の項目が「国債の不動産化と本郷会館の賃貸化」です。

### 日本連盟が所有している資産

日本連盟の資産は、現預貯金や各種債権、土地、建物(本郷のビルや那須野営場など)と、有価証券などがあります。

有価証券のうち「利付国債」は6億円相当。これは一定の割合で利息がつく安定的な証券ですが、利率は極めて低いものです。その意味では資産をただ眠らせているような状態でした。

一方、土地と建物にあたる本郷のビルは地の利も良く、優良な賃貸物件となり得るとの評価を不動産業界から受けていましたが、我々がボーイスカウト会館として使用していたため、賃貸料収入を得るわけにもいきませんでした。

そこで、眠らせていた有価証券を本郷のビルよりもコンパクトな不動産に換えて本部をそこに移し、本郷のビルを賃貸に出すというプランが生まれました。

### 資産の姿を変えて運用益を生み出す

新しいスカウト会館の土地と建物の購入に新たな資金を投入したのではなく、眠っていた有価証券を不動産に変えたというわけです。

本郷の土地と建物も売却してしまったのではなく、引き続き日本連盟

の資産であり、その使い方を変えて大きな賃貸料収入を生み出すようにしたのです。これに合わせ、本郷のビルを新たに「後楽園 SAJビル」と命名しました。立地をより分かりやすく後楽園とし、その所有者がボーイスカウト日本連盟であることを示すためにSAJビルとしました。賃貸料による収益は年間数千万円を見込んでいます。

### 財団法人として基本に立ち戻ること

「国債の不動産化と本郷スカウト会館の賃貸化」についての意思決定がなされたのは、2018年2月の臨時理事会とそれに続く3月の臨時評議員会でした。それぞれの会議ではプランに対する慎重な審議が行われ、最終的には両会議とも「資産運用で利益を稼ぎ出すという財団法人としての努力のスタートである」との財団法人の基本に立ち戻り、承認しました。

### 新しい本部のスタート

本郷より少し不便な場所にはなりましたが、身の丈にあったつつましい建物であり、各種会議や事務局業務が2018年10月よりスタートしています。11月にはスカウトショップが荻窪駅近くに開店し、12月には会館内に小さいながらもスカウトライブラリーをオープンしました。東京にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。

また、ペーパーレスをはじめとするさまざまな業務の効率化にも取り組みながら、2022年の100周年に向けたボーイスカウト再興への道を皆さんとともに進んでまいります。

次号ではいよいよボーイスカウト再興のためのアクションの大きな柱でもある「中途退団抑止」のための具体的な取り組みについてご紹介いたします。



東京・杉並区で始動した新しいスカウト会館



# セーフ・フロム・ハームの 取り組み

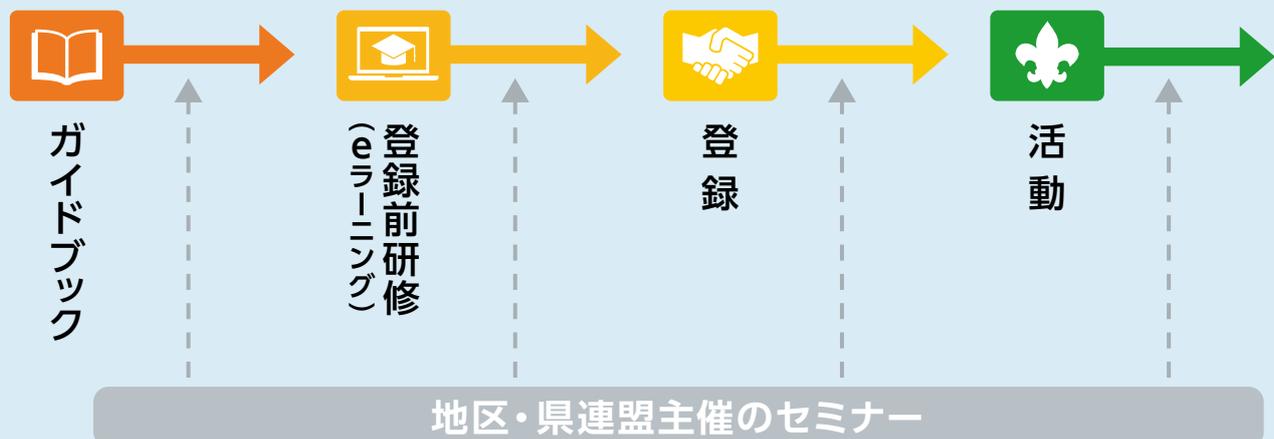
## 登録前研修について

日本連盟では、2017年度加盟登録時より本運動に加盟登録をしようとする18歳以上の隊および団指導者(副長補等も含む)は、事前に「登録前研修」の受講を必修としました。2019年度の登録更新時にも受講していただく必要がありますので、下記のURLより、登録前研修に取り組んでください。また、2019年度においては、さまざまな分野で奉仕をする機会の多いローバースカウト部門についても受講を奨励していきます。なお、2020年度の研修からは、ローバースカウトも必須とする予定です。

インターネットへの接続環境にないなど、オンラインでの受講が難しい方は、団関係者の協力を得て、ガイドブック、「登録前研修テキスト版」を日本連盟のホームページよりダウンロードいただき、研修に取り組んでください。

研修受講後、PDFの修了証が発行されますので、団所属の指導者等は各団委員長へ報告し、修了証を提出してください。テキスト版で受講する団所属の指導者等も研修後、同意書を各団委員長に提出してください。

### ■フローチャート



日本連盟：セーフ・フロム・ハームのページ  
<https://www.scout.or.jp/sfh/>

## 県連盟でのセーフ・フロム・ハームへの体制づくり

スカウト運動の質の向上を目指してセーフ・フロム・ハームを導入してきましたが、各県連盟から「具体的な運用や対応方法が分かりにくい」とのご意見をいただいております。セーフ・フロム・ハームのさらなる推進を目指すため、『「セーフ・フロム・ハーム」県連盟対応ガイドライン』を作成しました。2部構成とし、第1部は、セーフ・フロム・ハームの日常的な活動や学習方法についての記述と、県連盟における組織的な対応の準備として「県連盟内にセーフ・フロム・ハームを

担当する委員会」の設置をお願いしています。第2部は、セーフ・フロム・ハーム問題発生時に、組織としてどのように行動するかを具体的に示しています。

2020年を目標に、ガイドラインに基づき、各県連盟において「セーフ・フロム・ハーム」担当の委員会などが設置されるよう、準備を進めています。

## 「思いやりの心をはぐくむ教育」に関する資料の作成について

現在、「セーフ・フロム・ハーム」安全委員会では、ビーバースカウト隊やカブスカウト隊の活動中に取り組めるような、カード形式の活動ヒント集を作成しています。スカウト自らが考え、スカウト同士の

話し合いを通じて「気づき」を得ることを目的としています。春には完成予定ですので、楽しみにお待ちください！

■野外活動のための安心・安全講座

# 資料「17NSJ事故事例」

昨年の夏に開催した第17回日本スカウトジャンボリー（17NSJ）における、中央救護所の受診状況を基に作成しました。

## 救護所における事前準備



17NSJは、12年前の14NJと同じ場所、石川・珠洲りふれっしゅ村鉢ヶ崎で開催しました。今回は、14NJでの経験をふまえ、熱中症対策と薪炊事における切傷対策を考慮に入れながら準備を進めてきました。

## 大会期間中の中央救護所の受診報告

### ① 熱中症(脱水症含む) / 初診件数 153件 [全体数の約30%]

昼間の暑さはあったものの、夜間は比較的涼しく、また期間中の降雨等により、疾病者数は比較的少なくすみました。

また、期間中は会場に熱中症指標計を5台設置して観測。大会2日目には危険数値に達したため、午後には大会本部が活動中止命令を発令し、予防につなげたほか、経口補水液(OS-1)の配布や各サブキャンプにおける救護所の設置により、重症度を軽減することができました。

ただし、中央救護所の位置が会場の中心部でなかったため、搬送までの移動距離に差があり、若干の影響を感じられたことは否めません。

### ② 外傷 / 初診件数は 84件 [全体数の約15%]

外傷者受診のうち、鉈などによる外傷は55件に及び、外傷受診件数の約65%を占めました。特に炊事時間帯等に多く、ピークをむかえました。外科医による縫合などの処置に努めましたが、腱に及ぶ深い傷のものは、会場外の支援病院に搬送し、対応していただきました(外部病院への搬送は5件)。

### ③ その他

今回、カウンセリングを設置したことで、長期間のキャンプ生活の不安、心身の不調などによる救護所頻回受診を軽減することができました。特に、各サブキャンプでの対応が功を奏したといえます。

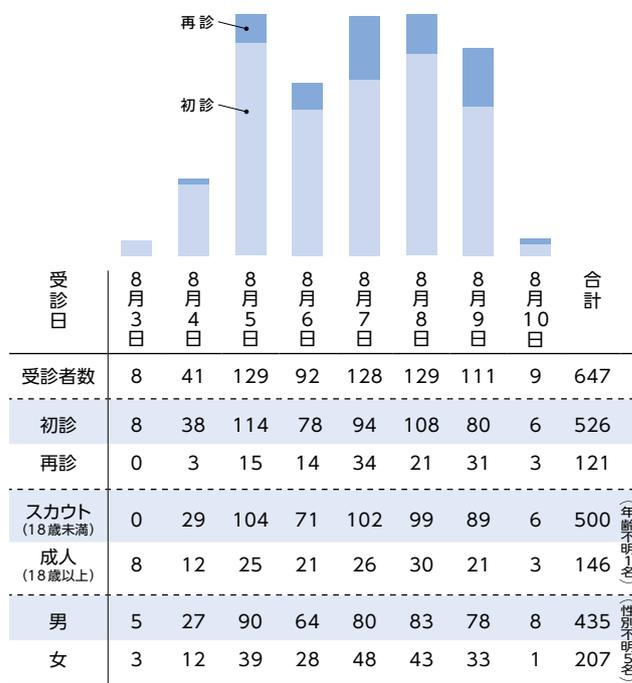
一方で、指導者による応急手当てに関する考え方や対応の仕方に差異がみられました。普段の活動の中でも対応できるように、指導者として常に研鑽を積むことが重要になってくると思います。

AEDは既設のもの以外に、大会として6か所に設置しましたが、使用することなく大会を終えることができました。今回の大会では使用することはありませんでしたが、万が一に備え、野外の大会においては、常に準備しておくことが重要です。

また、会場全体としての安全管理については、警備体制を整え、定点での警備や巡回警備を行いました。特に、交通事故等は発生しませんでした。無許可車両の通行や場内速度違反車両が見受けられました。指導者として、普段からルールの遵守を心がけていただきたいと思います。

「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会

## ■ 受診者の受診日別頻度



## ■ 初診患者の傷病別頻度 (1人の患者の複数にわたる傷病受診あり)

	熱中症・脱水症	外傷	熱傷・火傷	候群	過換気症	頭痛・疲労	呼吸器	消化器	循環器	脳神経
初診	153	84	12	20	28	50	71	1	13	
再診	17	48	8	1	-	7	8	-	-	
スカウト (18歳未満)	152	107	13	20	22	47	64	-	8	
成人 (18歳以上)	18	25	8	1	6	10	15	1	5	
男	113	100	24	6	19	38	48	1	10	
女	56	31	1	15	9	19	28	-	3	
場外受診 (重複傷病を含む)	3	8	-	1	2	1	3	-	3	
	整形外科 (外傷を除く)	皮膚科 (熱傷・火傷を除く)	泌尿器科	耳鼻科	眼科	婦人科	精神科 (過換気症候群を除く)	歯科	その他	
初診	10	92	7	12	14	5	2	5	4	
再診	1	16	1	2	1	1	1	-	1	
スカウト (18歳未満)	8	69	-	13	10	5	-	1	1	
成人 (18歳以上)	3	39	4	1	5	1	2	4	4	
男	4	71	4	9	12	-	2	2	4	
女	7	35	4	5	3	6	1	3	1	
場外受診 (重複傷病を含む)	2	1	3	1	5	-	-	-	2	

# 世界のスカウト人口

## 世界スカウト機構加盟国と加盟員数

1907年にイギリスで始まったスカウト運動は、すぐに世界中に広まり、現在では約4,000万人のスカウトたちが活動しています。スカウト活動が行われていないのは、アンドラ、中国、キューバ、北朝鮮、ラオスの5か国のみ。スカウトの世界組織である世界スカウト機構(WOSM)には、169の国と地域のスカウト組織が正式加盟しています。



創始者

ロバート・ベーデン-パウエル  
(1857-1941)

# [正加盟] 169の国と地域 / [合計] 約4,000万人

アジア太平洋地域 Asia-Pacific Region	ヨーロッパ地域 Europe Region	アラブ地域 Arab Region	アフリカ地域 Africa Region	インターアメリカ地域 Interamerica Region
30,185,383人 / 27か国 事務局：フィリピン	1,736,116人 / 40か国 事務局：スイス	280,567人 / 19か国 事務局：エジプト	2,477,793人 / 40か国 事務局：ケニア	3,255,958人 / 34か国 事務局：パナマ
インド 3,647,843 インドネシア 21,599,748 オーストラリア 68,350 韓国 149,356 カンボジア 16,608 キリバス 1,186 シンガポール 11,380 スリランカ 37,737 タイ 697,797 台湾 53,203 日本 104,086 ニュージーランド 18,440 ネパール 20,838 バングラデシュ 1,112,293 パキスタン 525,365 パプアニューギニア 4,955 東ティモール — フィジー 10,175 フィリピン 1,934,255 ブルネイ 2,534 ブータン 24,496 香港 66,841 マカオ — マレーシア 65,944 ミャンマー — モルディブ 1,508 モンゴル 10,445	アイスランド 4,615 アイルランド 44,492 イギリス 530,999 イスラエル 83,332 イタリア 102,099 エストニア 1,341 オランダ 57,507 オーストリア 10,136 キプロス 4,667 ギリシャ 15,888 クロアチア 2,544 サンマリノ 260 スイス 23,298 スウェーデン 34,990 スペイン 63,424 スロバキア 6,826 スロベニア 6,143 セルビア 5,261 チェコ 46,190 デンマーク 42,927 トルコ 141,277 ドイツ 109,292 ノルウェー 17,840 ハンガリー 9,675 フィンランド 52,565 フランス 75,547 ブルガリア 948 ベルギー 103,275 ボスニア・ヘルツェゴビナ 3,130 ポルトガル 80,681 ポーランド 35,697 マケドニア 1,467 マルタ 3,079 モナコ 360 モンテネグロ 1,268 ラトビア 872 リトアニア 1,820 リヒテンシュタイン 690 ルクセンブルク 6,282 ルーマニア 3,412	アラブ首長国連邦 5,980 アルジェリア 4,150 イエメン 6,481 イラク — エジプト 82,940 オマーン 12,847 カタール 4,528 クウェート 5,950 サウジアラビア 19,260 シリア 9,260 スーダン 14,682 チュニジア 18,494 バーレーン 1,790 パレスチナ 33,629 モロッコ 12,304 モリタニア 3,724 ヨルダン 15,521 リビア 14,494 レバノン 14,533	アンゴラ 18,654 ウガンダ 116,054 エスワティニ 6,843 エチオピア 67,977 カメルーン 4,501 カーボヴェルデ 733 ガボン 3,736 ガンビア 18,422 ガーナ 3,818 ギニア 10,522 ギニアビサウ — ケニア 1,026,364 コモロ 1,725 コンゴ民主共和国 71,443 コートジボワール 7,512 サントメ・プリンシペ — ザンビア 7,396 シエラレオネ 15,074 ジンバブエ 6,731 セネガル 9,857 セーシェル 169 タンザニア 538,933 チャド 14,500 トーゴ 9,702 ナイジェリア 46,701 ナミビア 2,836 ニジェール 3,300 ブルキナファソ 11,528 ブルンジ 28,559 ベナン 7,225 ボツワナ 3,783 マダガスカル 50,464 マラウイ 12,810 南アフリカ 299,128 南スーダン 2,149 モザンビーク 21,487 モーリシャス 5,509 リベリア 2,418 ルワンダ 18,859 レソト 371	アメリカ合衆国 2,816,513 アルゼンチン 62,343 アルバ — ウルグアイ 1,968 エクアドル 6,022 エルサルバドル 3,309 カナダ 103,401 ガイアナ 399 キュラソー — グアテマラ 4,905 グレナダ 1,367 コスタリカ 10,387 コロンビア 14,153 ジャマイカ 1,705 スリナム 756 セントビンセント・グレナディーン 221 セントルチア 355 チリ 20,636 トリニダード・トバゴ 8,686 ドミニカ 1,100 ドミニカ共和国 1,513 ニカラグア 1,481 ハイチ 43,605 バハマ 1,443 バルバドス 2,334 パナマ 2,600 パラグアイ 1,086 ブラジル 69,924 ベネズエラ 14,123 ペリズ 810 ペルー 8,254 ホンジュラス 1,953 ボリビア 7,126 メキシコ 41,480
<h3>ユーラシア地域 Eurasia Region</h3> <p>19,288人 / 9か国 事務局：ウクライナ</p> <p>アゼルバイジャン 1,631 アルメニア 2,261 ウクライナ 1,195 カザフスタン 1,113 ジョージア 1,749 タジキスタン 1,062 ベラルーシ 1,041 モルドバ 2,050 ロシア 7,186</p>				

※ 人数は、WOSMの最終更新(2014年12月)に準ずる(日本は2017年度末時点)  
※ 最終更新以降の加盟国は人数未集計  
※ 掲載は各地域内で五十音順  
※ アフリカ地域「スワジランド」が「エスワティニ」に国名変更

## 猪突猛進 野外へ飛び出せ!

日本ではイノシシは「猪」と書きますが、中国では昔から「猪」は一般的にブタを表し、とくに家畜の豚は「家猪」と表記され、対してイノシシは「野猪」と表記し、まさに野生の動物なのです。

イノシシの性格をたとえて「猪突猛進」という言葉があります。

多くは「周りや後先のことを深く考えず、勢いにまかせてがむしゃらに突き進むこと」と、かなり否定的な意味に捉えられています。これは一度走り出したら真っ直ぐにしか走れず、簡単に曲がることができないという、人間が勝手にイノシシの行動を決めつけたところに起因した解釈です。

無骨でドンくさいイメージのイノシシくんは、実はとても神経質、恐がりで臆病な性格であるにもかかわらず、子どもを守るためなら大きなクマにも突進体当たりするほど勇敢であり、なんと全速力で走っているときでもクルッとどの方向へも転換できるほど運動機能が高いのですよ。

子どものときから絵を描くことが大好きな私は、物心ついてからズ〜ッと、先生をはじめ周りの人から「落ち着きがない」と叱られていました。小学生のときの通信簿に書かれる評価の書き出しは、決まって「イトーくんは落ち着きがない」でした。

目の前のあらゆる出来事や物に対して興味と好奇心が旺盛な私は、10秒たりともズ〜としていられず、触ったり覗いたり、食べたり、踏んづけたりと、何かしら五感をフル動員して確認しないと気が済まない性格です。

そんな落ち着きのない私でも、スケッチや絵を

描くときには、これまた別人のように何時間でもまるで石のように固まり、描くべき対象物に対して10時間でも20時間でも、好奇心と観察する集中力が持続するのです。

今でもその好奇心と観察する集中力は旺盛で、先日までふすま絵4枚〔神木ガジュマルの巨木〕を2か月の間、ほぼ毎日のように15〜20時間ぶっ続けで描き狂っていました。

その集中するエネルギーはどこから湧き出るとかという、それは野外における観察力です。

その下絵とするスケッチに、4日間延べ40時間を要したのです。一日10時間メモをとりながらその巨木ガジュマルと向き合うとき、風が吹き、木の葉が揺れ、小雨が落ち、太陽が雲間から突然輝き、汗ばむような陽射しに照らされ、また風が吹く。小鳥が突然やってきて羽を休め、翼の毛繕いをして、実をついばみ木の実をポロポロ地面に落とす。

そのときハッと気がつくのです。その巨木は小鳥が落とした小さな木の実から始まり、若葉を出し枝を伸ばして幾多の雨風に打たれ、焼けつく太陽の陽射しに照らされ、時に巨大な台風を耐えしのび、折れた枝からまた新たな枝を伸ばして数百年の時を重ねて、今私の目の前に在ることを。その生命のエネルギーを感じたとき、もう筆は止まらず、一筆書きでどんどん描き進み、気がつくと10時間の時が過ぎ去り、結果として一枚の「絵」が描き残されているのです。

20数年前に出会った雄大なガジュマルの樹を夢中でスケッチしたときの感動と興奮が蘇り、〔神木ガジュマルの巨木〕に向き合った猪突猛進的感覚が、私の筆を走らせたのです。そのエネルギーは250分の1秒で写された写真では感じとることのできない感覚なのです。

時として「猪突猛進とは、ひとつの物事に集中し、その本質に向かって突き進む」と肯定的にも捉えられるのです。

感受性豊かな少年たちよ、野に出て五感を研ぎ澄まし、この「命満ちあふれる世界」のすばらしさを体感せよ。

さて今年2019年はイノシシの年。ポテトチップをつまみながらゲームばかりに夢中になるのではなく、「家猪」を卒業・脱出し、「野猪」の字の如く野に出て大自然を満喫し、多くの感動を体験しようではないか。



イラスト&文：伊東孝志

いとうたかし／南国・無人島へのシーカヤック放浪旅をこよく愛する、奄美大島生まれの小学57年生。ヤドカリを人生の師と仰ぎ、筆先に北斎を見つめ、水彩の楽描(らくがき)を糧として、奄美・沖縄〜東京を拠点にアウトドアライフな、古今東西南北の日々を漂流する。

●伊東孝志ブログ「道草楽描／みちくさらくがき」～ <http://michikusa-rakugaki.blogspot.com/>

### 信仰奨励

#### カブ部門における信仰奨励について

信仰奨励委員会 町田 正照

先日、地区のカブ部門の円卓会より依頼があり、「カブ部門における信仰について」というテーマで、一緒に勉強してきました。ボーイ部門やベンチャー部門には信仰奨励章や宗教章がありますし、年齢的にも理解できるのですが、カブ年代への指導に関しては悩みます。

カブ部門の修得課題(カブブック)では、「うさぎ」から「くま」まで最初の課題に「信仰とたしなみ」があります。

「うさぎ」では【笑顔】という項目で、食事のときに感謝をする、元氣よく挨拶をする。

「しか」では【感謝】という項目で、お世話になった人々について話し合う、感謝の手紙を書く。

「くま」では【心がけ】という項目で、お寺や神社、教会へのお参りを、身だしなみや言葉使いをスマートにする。等の内容です。

この【笑顔】【感謝】【心がけ】は、各学年のカブスカウトが理解できる内容であり、これを修得することが信仰へ繋がる第一歩だと考えます。カブブックの履修だけではなく、集会の中でこれらを意識した活動を行うことで、スカウトの理解がより深まるものと思います。

ある隊では、集会で「良いところ探し」という活動をしています。各スカウトが、他のスカウトの良いところを探し、カードに書きます。それを、スカウトごとに綴じ、表紙をつけて「今年の良いところ章」という表彰を行います。この発表も工夫されていて、ゲーム感覚で楽しく盛りあがります。人の良いところを探し、人から良いことをしたと褒められる……そんなことが【笑顔】【感謝】【心がけ】へ繋がり、そして信仰へと繋がるのではないかと思います。

ヒントは、集会の中でスカウトタウン・サービスを頻繁(ひんぱん)に行うことです。例えば、2人で向き合ってカブの握手をして、「相手の喜びことは何だろう」とか、「相手に助けてもらったことは？」などを考えさせる等があるでしょう。

ありがたいお話だけがスカウトタウン・サービスではありません。タイミングを見つけていろいろな方法で実施してみましょう!

そして何よりも、指導者が明確な信仰をもつことだと思います。明確な信仰に基づいた言葉は、きっとスカウトに伝わると思います。



世界スカウト記章 (The World Emblem)

## スカウティングとウッドクラフト ⑧

# 「世界スカウト機構」の資料で確認する 現代のスカウト教育法と ウッドクラフト

今や世界169の国と地域に広がったスカウト運動。世界スカウト機構 (World Organization of the Scout Movement: 以下 WOSM) は、その運動の基準となる「世界スカウト機構憲章」を制定しています。その重要部分である「スカウト教育法」が2017年8月の第41回世界スカウト会議 (アゼルバイジャン) で改正されました。

この憲章ではスカウト教育法の要素を8つ挙げています。今号ではウッド

クラフトに関係の深い「自然」という要素から、現在のウッドクラフトとスカウティングの関係を確認してみましょう。

テキストとしては、WOSMのホームページに世界会議の経過と決議「スカウト教育法の見直し」が詳しく載っています (英文)。日本連盟では、それを基にした資料『スカウト教育法』を、2018年12月に作成しました。近日、日本連盟のホームページに掲載しますので、ご参照ください。

## 《世界スカウト機構憲章》と教育法

「憲章」は「序文」で「現行のこの規約は、世界的な協力、友情の精神のもとに、スカウト運動の世界機構の運営の基準となるものである」とうたい、以下「第1章 スカウト運動」の第3条でスカウト教育法 (The Scout Method) を定義しています。その要素の英語表記は、

- The Scout Promise and Law,
- Learning by Doing,
- Personal Progression,
- Team System,
- Adult Support,
- Symbolic Framework,
- Nature,
- Community Involvement.

です。なお「憲章」は日本連盟が発行する『日本連盟規程集』の巻末に和文で収録してあります。



「スカウティングの実践」より



## スカウト教育法の要素

スカウト教育法は、スカウト運動における教育方針の根幹をなすもので、一言でいえば、進歩する自己研鑽システムです。上の図にあるように、複数の要素が密接かつ相互に関係し、作用します。

スカウト教育法の要素は、従来は7つでしたが、2017年第41回世界スカウト会議において新たな要素 (社会との協同) が加わり、8つとなりました。

## スカウト教育法の要素としての「自然」

スカウト教育法の全体像と詳細については右の参考テキストなどを読んでいただくこととし、ここでは「自然」について一部を引用します(原文はWOSMの会議資料、日本連盟訳)。まず、

屋外で学ぶ機会。そのことを通して多種多様な環境に馴染むことができ、そうした環境への理解が深まります。

と目的を述べ(文頭の「屋外」の原文は“in the outdoors”なので野外を意味します)、

自然とは、校庭、地面がコンクリートのキャンプサイト、大都会といった人工的に築かれた環境とは真逆の、森林、大草原、大海原、連なる山々、砂漠といった無垢な環境のことを指します。自然とはまた、ベーデン・パウエルが名付けたように、「果てしないもの、遙かなる時の流れ、そして目に見えないほど小さいもの」が「融合した完全体」であり、人類はただそこに居候させてもらっているだけなのです。

と真の自然を見極めることとそれに接する人類が謙虚であるべきと強調します。そして、ようやく、

自然界には青少年がその知力・体力・感受性・社会性・精神力を高める計り知れない可能性があります。それゆえ自然はスカウト教育法には理想的な環境なのです。また青少年にとって自然が冒険にあふれたもの

であることは言うまでもありません。街中であれ、郊外であれ、また未開の地であれ、自然に直接触れることで間違いなくスカウトは多くのことを学ぶことができるのです。

と、自然界が理想的な教育環境であり、それを利用することを勧めます。さらに、

実は自然を利用するというこのスカウト教育法の要素には、単に広大な野外で活動するということ以上の意味があります。この要素を活用することによって、自然をより身近に感じられるようになり、自然界が与えてくれる学びの機会が拡がりを持って増えていきます。そしてそれが青少年を成長させるのです。

ベーデン・パウエルは自然の教育的役割について、森林を例に次のように言っています。「君たちに目と耳さえあれば、森というのはたちまち実験室にも部活の場にも祈りを捧げる寺院にもなるのです」。

と信仰心や人間性の成長にも触れています。



「スカウティングの実践」より

野外で、安全に、しかも充実した自然学習の機会を得るには、ウッドクラフトの修得が必要であることは言うまでもありません。現在では自然保護、環境保全が最優先となりました。しかし、ベーデン・パウエルがスカウト運動の創始者として唱えた、「ウッドクラフト」(自然に関する知識・技能・心構え)の習得を奨励する、それが子どもたちの成長につながるという、スカウト教育法の特性は、今も一貫して続いているのです。

110年を超したスカウト運動。日本連盟の創立100周年も近づいています。日本でもウッドクラフトは常に教育と活動の柱となってきました。そして今、「スカウティングとウッドクラフト」はどのように位置づけられているのでしょうか。次号では、日本のスカウト運動の指針となっている「日本連盟教育規程」の内容を基に、それを考えてみましょう。なお、次回が本連載の最終回(9回目)となります。

### WOSM 発行の参考テキスト

WOSMのサイトからも多くの情報が得られるが、日本連盟(SAJ)が翻訳・発行した「スカウト教育法」に関する冊子を紹介いたします。ただし、発行時期がかなり前なので、その点を考慮したい。いずれも英文併記。「スカウトショップ」で発売中。

- ①『スカウト指導者のためのアイデア  
スカウティングの実践』  
1996年・WOSM、2001年・SAJ発行/定価420円(税込)
- ②『基本原則』  
1992年・WOSM、2002年・SAJ発行/定価216円(税込)  
日本の指導者研修では必読の冊子。最新版は2016年7月刊。
- ③『スカウティングの本質的特徴』  
1998年・WOSM、2001年・SAJ発行/定価420円(税込)  
「世界スカウト機構憲章」に基づくスカウト運動の主旨を解説。
- ④『スカウティング:一つの教育システム』  
1998年・WOSM、2004年・SAJ発行/定価617円(税込)  
教育法の各要素などについて詳しく解説。

### 原点に帰る本



川口 拓  
『ブッシュクラフト  
—大人の野遊びマニュアル』  
2016年・誠文堂新光社発行/  
定価2,700円(税込)

「サバイバル」という言葉に、悲壮な、時には血なまぐさいイメージが先行するようになってしまった昨今、少ない装備でキャンプを楽しむ技能を指すものとして「ブッシュクラフト」という言葉が登場している。「サバイバル技術で楽しむ新しいキャンプスタイル」という副題もついたこの本は、おそらく日本で初めて「ブッシュクラフト」を紹介し解説した先駆的な一冊。ていねいに解説したスキルは、まさに「ウッドクラフト」。スカウトにもお勧め。



『焚き火大全』  
2003年・創森社発行/定価  
3,024円(税込) / 吉長成泰・中  
川重年・関根秀樹 編

火起こし、薪や道具、料理、伝承文化、火と人間の歴史、環境教育など、あらゆる事項を収録した焚き火の大百科。少し昔の本だが、リーダー必読。団ルームに常備し、ウッドクラフトの楽しさをおおいに学ぼう。



# 2018年発生 自然災害への支援状況報告

本誌前号(2018年11月号)では、「平成30年7月豪雨」における、全国の皆さまの支援活動状況について報告いたしました。本号では、立て続けに発生した「台風第21号」および「北海道胆振東部地震」への支援状況をお伝えいたします。

昨年発生した自然災害に対し、全国各地で多くの街頭募金が行われました。皆さま、ご協力ありがとうございます。引き続きご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

※ 本頁では、日本赤十字社等への直送分を含み、日本連盟に活動報告をいただいている団等(2018年11月30日受付分まで)を掲載しております。

※ 隊名や個人名等の報告でも、回名の記載があった場合には団名で紹介しています(敬称略、順不同)。あらかじめご了承ください。



## 台風第21号

2018年9月4日に日本に上陸した台風。25年ぶりに「非常に強い」勢力で日本に上陸し、特に関西地方を中心に大きな被害をもたらしました。

### ■ 日本赤十字社等を通じて被災者に直接送られる義援金 ¥600,154

【茨城】守谷1【埼玉】桶川1【千葉】八千代4、市原7、我孫子1【神奈川県】横浜57、88、115【石川】石川県連盟【長野】松本1、2、4、6【岐阜】各務原2、岐阜1、可児1【静岡】三島5、富士地区委員会有志一同【愛知】愛知ローパス会議【滋賀】草津14、犬上1【奈良】北葛城1、生駒3【兵庫】神戸8、16、53【大阪】藤井寺4【福岡】福岡37

### ■ スカウト関係者からスカウト関係者に対する見舞金 ¥54,470

【東京】江戸川3【福井】福井連盟

### ■ ボーイスカウトによる支援活動をサポートするための災害活動支援金

現時点での報告はありません。

## 北海道胆振東部地震

2018年9月6日未明、北海道胆振地方中東部を震源に発生した地震。北海道では初めて最大震度7が観測されました。

### ■ 日本赤十字社等を通じて被災者に直接送られる義援金 ¥2,553,867

【北海道】帯広7【宮城】泉1【茨城】神栖1【群馬】群馬町1【埼玉】桶川1、北本1、川口19【千葉】大網白里1、八千代4、市原7、浦安2、船橋14、我孫子1、東金1、17NSJ千葉7隊【神奈川県】横浜8、19、43、57、88、100、107、115、116、川崎22、逗子1、神奈川連盟【東京】葛飾9、江戸川5、あすなろ地区RS【石川】石川県連盟【長野】松本1、2、4、6【岐阜】各務原2、岐阜1、可児1【静岡】三島5、吉田2、富士地区委員会有志一同【愛知】岡崎1、豊田16、東海1、愛知連盟所属RS有志【三重】伊賀1、桑名3【滋賀】草津17【兵庫】神戸8、16、28、53、尼崎7、姫路16、18、明石2、西宮10、阪神さくら地区【奈良】北葛城1、橿原8、生駒3【和歌山】和歌山2、

21【大阪】守口2、高槻5、茨木1、藤井寺4【鳥根】大社1、浜田2【愛媛】松山30【福岡】福岡19、37【宮崎】宮崎5

### ■ スカウト関係者からスカウト関係者に対する見舞金 ¥568,649

【神奈川県】高塚 勇【東京】江戸川3【福井】福井連盟【三重】鈴鹿1【兵庫】兵庫連盟

### ■ ボーイスカウトによる支援活動をサポートするための災害活動支援金

現時点での報告はありません。

## 平成30年7月豪雨

2018年10月1日から11月30日までに活動報告をいただいた団等を掲載するとともに、義援金等の総額を報告いたします(9月30日までの報告受付分は本誌2018年11月号に掲載しています)。

### ■ 日本赤十字社等を通じて被災者に直接送られる義援金 総額 ¥7,623,335

【北海道】釧路地区【宮城】泉1【茨城】日立5、7、水戸5【栃木】今市2【千葉】柏10【神奈川県】横浜133【長野】松本1、2、上田5【岐阜】可児1、大垣11【静岡】浜松12【滋賀】蒲生2、大津20【兵庫】相生4、神戸70【和歌山】和歌山2、14、18、19、21、22、海草1【大阪】門真1、藤井寺4【鳥取】米子8

### ■ スカウト関係者からスカウト関係者に対する見舞金 総額 ¥263,035

【福井】福井連盟【三重】鈴鹿1【和歌山】橋本2

### ■ ボーイスカウトによる支援活動をサポートするための災害活動支援金 総額 ¥84,088

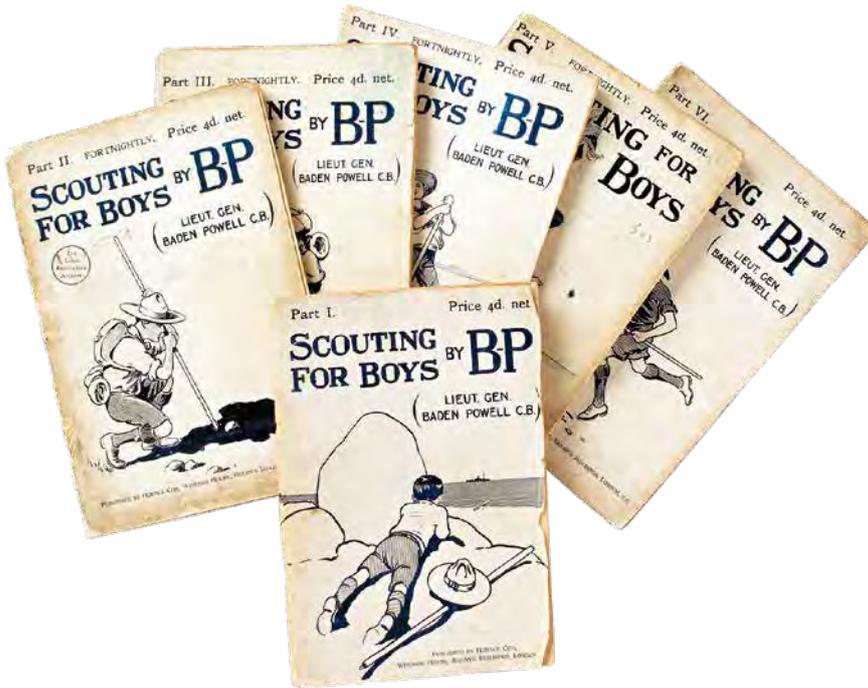
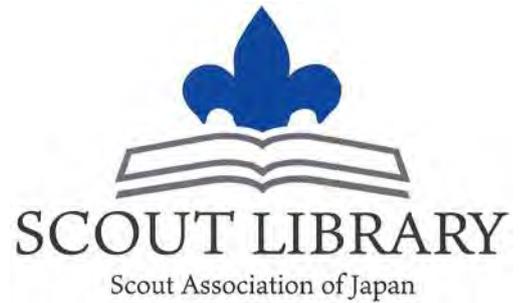
### 募金等、活動報告のお願い

日本連盟に届いた活動報告により、用途を確認できた募金について掲載しております。募金活動を実施した場合は、直接日本赤十字社等へ送金された団も含め、活動報告の提出にご協力ください。日本赤十字社の受付延長に伴い、日本連盟でも募金の受付を3月上旬まで継続いたします。

# スカウトライブラリー オープン!

スカウト会館の移転に伴い、スカウトライブラリー・スカウトミュージアムを一時閉館していましたが、2018年12月7日、新たな地でスカウトライブラリーを新装開館しました。

今までのライブラリー同様、過去に発行していたスカウト向け機関誌『スカウト』や戦前からの貴重な書籍類、各県連盟や地区の活動広報誌や外国連盟などが発行した、さまざまな書籍をご覧ください。



**場 所** スカウト会館 1階  
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3

※ 駐車場はございません。ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。

**開 館 日** 金曜日・土曜日・日曜日

**開 館 時 間** 13:00～17:00

## ● 寄贈のお願い

スカウトライブラリーでは、ボーイスカウトに関するさまざまなものの保存管理や研究、展示等を行っております。まもなく連盟創立100周年を迎える日本のボーイスカウトの歴史を次世代へ語り継ぐために、所有されているものをご寄贈いただけるものがございましたらぜひご検討ください。

※ お問い合わせは日本連盟事務局 組織・管理部へ。

TEL: 03-6913-6262

E-mail: smsl-2012@scout.or.jp

## 2019年度からの日本連盟加盟登録料について

この度、スカウト運動の質を向上し、その価値を社会に発信して加盟員や支援者の増加を目指すため、2019年度より加盟登録料の値上げを行うことになりました。

新たな年度の加盟登録事務の開始に向け、各団には2018年11月末に詳しい資料を送付していますが、あらためて成人加盟員の皆さまに新しい登録料の金額をご案内いたします。

なお改定の経緯等については、本誌2018年5月号の「ボーイスカウト再興への道(3) 登録料改定の真意」をご参照ください。

このほか、経済的な事由等により登録料の減免を受けている団や隊もあります。これらの詳細については登録マニュアルをご確認ください。

この登録料改定による財政改善に基づき、さまざまな施策に取り組んでまいります。加盟員の皆さまには負担増をいただきますが、ご理解のほどよろしくお願いたします。

### ■ 新しい加盟登録料

スカウト	4,000円
指導者	8,400円 / 同居者減免登録指導者 7,200円 ※それぞれ共済掛金900円を含む
非加盟員	900円 (共済掛金)
団	2,000円
隊	2,000円 (団と隊の登録料は従来と変わりません)

### ■ 9月以降に加盟する場合の登録料(減額登録料)

スカウト	2,250円
指導者	4,450円 / 同居者減免登録指導者 3,850円 ※それぞれ共済掛金700円を含む
非加盟員	700円 (共済掛金)

ローカルホットライン

# Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- ……団
- ☒……地区
- ……都道府県連盟
- ◇……その他

## 岐阜 □ 完歩しました

岐阜第17団 ボーイ隊長 坂本 浩之

岐阜第17団ボーイ隊の恒例行事「ハイパー・スカウト・トレーニング」を男女7人のスカウトで実施しました。

今回で通算28回目を迎えたこのトレーニングは、スカウトの精神鍛錬と体力作り、そしてチームワークを養うことを目的として毎年行っています。

個人装備を携行し、岐阜県岐阜市内から同郡上市高鷲町までの90kmを1泊2日の移動

野営で踏破する過酷なトレーニングです。足の裏には水膨れができたり、全身筋肉痛になったりしてリタイヤ寸前の状態にもなりましたが、仲間との助け合いにより全員で無事にゴールすることができました。

道中、沿道の多くの方が声をかけて応援してください、それがスカウトにとって大きな励みとなり、人の温かさを感じることもできました。



岐阜市のボーイスカウト第17団は、2日間の日程で同市業野の大龍寺から郡上市高鷲町のひるがの分水嶺公園までの約90キロを踏破する「ハイパー・スカウト・トレーニング」を行った。体力向上とチームワークを養うことを目的に毎年行っている。今年には中学生の男女7人が参加した。

初日、メンバーは雨の降る中を出発。寝袋や炊事具などが入った約10キロのザックを背負い、汗だくになりながら長良川沿いを北上し、郡上市大和町の恩善寺境内でテント泊。

2日目は、連続する登り坂に弱音を吐くメンバーもいたが、行き交う車からの励みや沿道住民からの応援もあり、全員が全行程を歩ききった。

岩野田中学校2年の長井咲さんは「仲間との協力によりゴールできたことは価値ある挑戦だった」と話した。(田代理加)

90キロを踏破し、笑顔を見せるボーイスカウトのメンバー＝郡上市高鷲町、ひるがの分水嶺公園

岐阜新聞 (2018.9.28)

## 石川 □ 団の広報活動

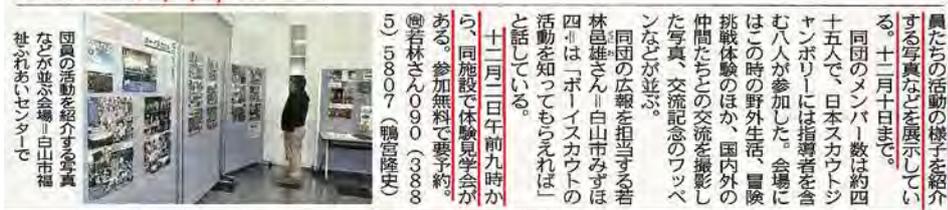
松任第1団 団委員 若林 昌雄

昨年の夏、石川県で第17回日本スカウトジャンボリーが開催されました。

当団では、昨年11月17日から12月10日まで、白山市福祉ふれあいセンターの一角をお借りして「ボーイスカウトの夏 ジャンボリー記念特集展」を開催。ジャンボリーでの写真や記念品の展示をしました。

市民の記憶が風化しないうちに展示をすることで、より多くの一般市民の方に、ボーイスカウトに興味をもち理解していただく機会に繋がったかと思えます。特に展示に際しては、ボーイスカウト用語を使わずに説明文を付け

ボーイスカウトの夏活動を紹介します。松任第一団が展示する白山市のボーイスカウトの夏の活動展「ボーイスカウトの夏」が、福祉ふれあいセンターで開かれています。展示は8月に開かれた野外体験交流大会「日本スカウトジャンボリー」の際の団員たちの活動の様子を紹介する写真などを展示しています。十二月十日まで。同団のメンバー数は約四十五人で、日本スカウトジャンボリーには指導者を含む八人が参加した。会場にはこの時の野外生活、冒険挑戦体験のほか、国内外の仲間たちとの交流を撮影した写真、交流記念のワッペンなどが並ぶ。



北陸中日新聞 (2018.11.22)

ることなどを心がけました。

この展示の様子は北陸中日新聞の地方版ページにも掲載していただきました。



## 茨城 □ むじんえきであそぼう

水戸第5団 ビーバー隊長 満仲 聡之

普段はあまり気にかけることのない近所の「無人駅」。駅があるからには何か魅力が隠れているはず。

今回探検した無人駅は、知る人ぞ知るCMの撮影スポット。田園風景を抜けて小高い丘を登ると、そこには前方後円墳。石室の壁画で有名な虎塚古墳にたどり着きます。そこからさらに巨木の森を抜けると、奈良時代の横穴墓群が。

約1,500年前の世界とつながっている不思議な無人駅。改札も券売機もないのに、昔の世界はスカウトを迎え入れてくれました。



## 京都 □ 発団50周年記念式典を挙行

綾部第2団 団委員長 猪岡 敏一

私たち綾部第2団は、昭和43年に発団して50周年を迎えました。

一つの節目として、記念式典の実施と50周年記念誌の発刊を企画し、平成30年11月24日、団の名誉団委員長である綾部市長はじめ、京都連盟や地区、綾部第2団 OB など多くの来賓を迎え、ささやかながらお祝いの式典を行いました。

スカウトから「せっかくの記念式典に並んでいるだけでは面白くない、活躍の場がほしい」という要望があり、式典後に来賓の「おもてなし」ランチパーティーをしました。スカウトと保護者の皆さんで「五大陸の料理」コーナーを作り、来賓の皆さんにはパスポートとそれぞれの通貨を準備し、コーナー巡りをさせていただきながらお昼を楽しんでいただきました。

少人数の小さな団ですが、スカウトはその一員として活動に参加することへの想いを一層募らせ、また指導者も今後の拡大に向けてより頑張らなければと強く決意した式典になったのではないかと嬉しく思います。

## 千葉 □ 海上保安庁長官表彰受賞

千葉第18団 ベンチャー隊隊長 村瀬 剛徹

平成30年7月23日、千葉第18団は、長年の海岸清掃奉仕活動が認められ、「海上保安庁長官表彰」を受賞しました。

これは、平成13年度から18年間、地域への奉仕活動および環境保護のために行ってきた、当団の活動エリアである「稲毛海浜公園」人工海浜の清掃奉仕活動が、長年にわたり「海をきれいにする活動」を実施してきた功績として海上保安庁に認められ、表彰につながったものです。

表彰伝達式は地元の千葉海上保安部で盛大に行われ、海上保安庁長官の代理として千葉海上保安部長より、各隊代表スカウトに対して表彰状が伝達されました。

今後も海岸清掃のみでなく、地域への積極的な奉仕活動を継続し、地域に根づいたスカウティングを行っていこうという思いを新たにしたい日でした。



## 愛知 □ 弥栄！ 田原第1団 発団20周年を迎えて

田原第1団 団委員長 足立 哲也

愛知連盟徳の国地区の田原第1団は、発団から20周年を迎え、昨年11月4日、田原市崙山会館に田原市教育長はじめ多数のご来賓をお招きするとともに、地区役員、地区友団の指導者とスカウトが参加し、記念式典を開催しました。

当団は平成10年4月に加盟員51人で発団し、気候温暖な田原市を中心に活動してきました。この20年間にはさまざまな苦労もありましたが、ひとつの区切りを迎えることができ

たのも、地域の皆さんや地区の強力なご支援の賜物と感謝しております。今後30年、40年と永続的にここ田原の地でスカウト活動をより活発に行っていくよう、今後も頑張っております。

また、式典に続いて実施された地区ビーバークラブラリーには、田原市のゆるキャラ「キャベゾウ・キャベリン」も登場し、あいにくの天候にもかかわらず、一般参加も含め400人近い参加者が楽しく元気に一日を過ごしました。

### 書籍紹介

「日本の少年団運動  
資料に見る黎明期の  
スカウティング」

五十野 和男 編著



日本における子弟教育の源泉は、藩校や健児の杜などで行われていた。1907年に英国で誕生したスカウト運動は、いち早く我が国に伝来した。全国各地に起こった少年団運動は、1922年に全国組織としての誕生となった。第二次世界大戦の戦中・戦後は苦難の道を辿りながらもいち早く再建された経緯を綴った一大資料集である。

～監修・学芸員 小町國市氏による帯の推薦文より

日本スカウト切手・メモリアークラブの五十野氏編著による、美しく豊富な写真・資料集(データCD付もあり)です。購入を希望される方は日本連盟事務局までお問い合わせください。



# 2020年開催 第13回日本アグーナリー

2020年、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催同年に、第13回日本アグーナリー（13NA）を開催します。アグーナリーは、特別な配慮が必要なスカウトと健全スカウトが、配慮の有無や老若男女に関わらず、キャンプ生活を通じて「共生社会」の実現を目指し開催する、4年に1度の国際障がいスカウトキャンプ大会です。

大会開催に向け、今後、さまざまな情報をお届けしてまいります。



- 会場 福島・国立磐梯青少年交流の家
- 主催 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
- 大会期間 2020年8月12日(水)～16日(日) / 4泊5日
- 大会規模 1,200人(予定)
- テーマ 「We Can! ふかめよう友情! ひろげよう絆!!」



## ■大会ロゴデザイン募集!

大会のシンボルとなるロゴデザインを公募します。採用作品は、大会参加章や記念品、ホームページや各種資料等に使用します。応募要項等の詳細は、ホームページ等をご確認ください。

皆さまからの多くのご応募をお待ちしています。

締め切り 3月25日(月) ※日本連盟必着

## ■現地説明会の開催

本年の夏に現地説明会の開催を予定しています。第13回日本アグーナリーへの参加を希望する指導者が会場へ集い、会場施設の視察と生活やプログラム等の計画についての説明、参加者相互の情報交換、13NAへの参加や活動の取り組みについての意見交換をする予定です。

詳細な日程や申込方法等は、今後、ホームページ等でご案内いたします。

日程 8月11日(日・祝)～12日(月・振)

会場 福島・国立磐梯青少年交流の家

## 維持会員(敬称略)

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

ご支援ありがとうございます 2018年9～10月度

【北海道】 三浦 武豊 森 和子 大橋 和子 長岡 正彦 BS千歳 2 BS札幌 26 BS札幌 22 BS札幌地区委員会	BS久喜 13 【千葉】 神谷 義文 中村 光美 井上 美恵 菊地 康介 南 正晃 榎田 清乃	林 矩子 中西 祐一 木戸 信隆 【福井】 矢村 賢司 【長野】 宮尾 正 赤羽 今朝男 【岐阜】 高田 英明 木村 芳郎 上田 明範 下田 智節 塩屋 次夫 三輪 常夫 安藤 和雄 水野 ひさえ 金子 佳弘 日比野 正治 山本 孟資 浅井 剛 BS関 剛2 大野 印刷所 名鉄観光バス(株) 岐阜支店	井上 勲 小泉 重俊 多野 俊彦 頭井 信夫 今井 芳夫 水谷 恵至 近藤 兼実 藤水 幹 岩井 勝子 藤橋 謙治 中山 和歌 田中 敏敏 村上 貴里 中川 美朗 稲垣 次 長谷川 榮一 渡辺 裕光 伊藤 忠弘 加藤 禎修 串崎 武志 岩田 武明 宮野 澄夫 寺部 匡力 柴山 則力 BS名古屋 22 BS豊川 4 BS稲沢 10 BS半田 7 BS大府 2 BS岡崎 13 BS岡崎3育成会 (株)ワールドハット	風間 優 田村 公 中村 将 樋口 秀明 篠原 常生 赤瀬 由貴 BS京都 65 同志社大学 スカウトOGOB会 秀和(株)	【兵庫】 新谷 義明 山田 武司 倉本 栄一 荒西 完治 平池 邦夫 飯田 洋志 喜田 浩巳 鈴木 武 村上 通泰 光永 宣和 片山 邦信 笠原 宏雄 古里 章 木村 伸 高橋 弘 片山 紀彦 植田 和幹 高田 芳樹 南波 正巳 加藤 健児 杉本 光一 野上 一夫 森地 純 池田 秀彦 清水 八洲 長 庫俊 大野 利勝 山村 平八 田村 晃弘 糺 裕子 山崎 裕等 長澤 弘之	三谷 彦 三亀 隆 己門 豊 下岡 篤 岡田 光 小玉 正 小松 洋 丸尾 一 林井 恭 永井 裕 古川 敏 藤川 和 中道 晴 江地 真 宮本 介 BS神戸 47 【奈良】 岡橋 成 坂口 幹 唐橋 彦 吉松 基 森川 安 井上 武 BS奈良 19 【和歌山】 数上 正美 堀 正則 岡 脩平 奥田 晴 塚本 雅 塚柳 照 野村 勝 野村 和生 (い)ちご啓寿会	【島根】 安井 敦子 池田 志 岩田 春子 南 春本 岡本 猛 平井 ビル 【広島】 沖 純次 小鷹 正八 中川 元 福島 達 松島 幸樹 酒井 幸雄 山崎 壽 貝原 勝 森本 正彦 西田 弘展 工内 芳則 山下 賢一 高橋 雅哉 高橋 正明 清網 秀信	【徳島】 楠 育生 【香川】 松平 頼武 大西 祐三 田所 和夫 山口 芳文 【福岡】 井手 直秀 井手 明子 辻 浩一 御田 良知 藤 幸洋 藤本 幸雄 阿津坂 秀人 伊藤 紀久美 坂本 宣由 BS筑紫2育成会 BS福岡15育成会 筑紫農業協同組合	BS宮崎連盟スカウトクラブ(かよ会) 【鹿児島】 和田 貞則 ネット30鹿児島(株) 【沖縄】 湧川 昌秀 新城 信武 古屋 政美 宮里 啓和 【日本】 尾上 修平 渡邊 富昭 山口 英一 武井 重利 枝村 浩平 浄土真宗本願寺派 スカウト指導者会 (株)ニシハタ織機工業 キックマン(株) (株)インターナショナル ビルメンテナス TSP太陽(株) (株)仙台銘板 池田建設(株) セーホーランド(株)
---	--	---	--	---	---	---	---	--	--

### マンスリーサポート維持会員

毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。

<https://www.scout.or.jp/kifu/index.html>

9～10月に入会または1年継続された方々です。

【栃木】 飯塚 哲史 【千葉】 片寄 朗 白鳥 素也 熊谷 紀行 坂口 昇次 【神奈川】 河野 正明	【東京】 佐藤 武信 塩川 晃平 堀川 崇雄 【静岡】 牧野 勲夫 中下 眞一 鈴木 勝	【奈良】 小城 浩充 【山口】 鶴永 博文 【宮崎】 山本 卓也 【愛知】 木本 史郎 村井 はるか
--	---	--





# 新 春 弥 栄

<p><b>謹賀新年</b></p>  <p>活動的で自立したスカウトを育てよう!</p> <p>世界救世教 管長</p> <p><b>長 澤 好 之</b></p>	<p><b>謹賀新年</b></p> <p>ボーイスカウト日本連盟 特別顧問 浄土真宗本願寺派 門主</p> <p><b>大 谷 光 淳</b></p> <p>ボーイスカウト日本連盟 顧問 浄土真宗本願寺派 総長</p> <p><b>石 上 智 康</b></p>	<p><b>謹賀新年</b></p> <p>ボーイスカウト日本連盟 特別顧問</p> <p><b>樋 口 武 男</b></p>
<p><b>謹賀新年</b></p> <p>ボーイスカウト日本連盟 評議員 大阪ボーイスカウト振興協会 評議員</p> <p><b>辰 野 勇</b></p>	<p><b>賀 春 “地域力だ! ボーイスカウト”</b></p> <p>子供は家庭・学校・地域の正三角形 の真ん中で育つ権利があります。</p> <p><b>運動の真価を浸透させましょう!</b></p> <p>ボーイスカウト日本連盟 評議員 千葉県連盟名誉会議員 市川・浦安地区協議会長</p> <p><b>森 屋 啓</b></p>	<p><b>Happy New Year 2019</b></p> <p><b>小 町 國 市</b></p> <p>東京連盟副連盟長 日本連盟理事 昭島第一団団委員 名誉会議議長</p>
<p><b>賀 正</b></p> <p>輝く未来に向けて、目標を達成しましょう!</p> <p>日本連盟評議員 広島県連盟理事長 広島第30団団委員長</p> <p><b>橋 本 貢</b></p>	<p><b>謹賀新年 京都連盟創立104年</b></p> <p>日本連盟 参与 京都連盟 相談役 京都第77団団委員</p> <p><b>羽 生 田 寂 裕</b></p>	<p><b>謹賀新年</b></p>  <p>活動的で自立したスカウトを育てる!</p> <p>ボーイスカウト日本連盟</p> <p>常務理事 <b>佐 野 友 保</b> 常務理事 <b>膳 師 功</b> 常務理事 <b>山 内 直 元</b></p>
<p>スカウティングの価値を再確認致しましょう!</p> <p>公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 副理事長</p> <p><b>水 野 正 人</b></p>	<p>スカウト運動の活性化は より良いスカウトの育成にある。</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 顧問 ボーイスカウト群馬県連盟 副連盟長</p> <p><b>新 藤 信 夫</b></p>	<p><b>スカウトたちに宗教章を!</b></p> <p>ボーイスカウト日本連盟 理事・信仰奨励委員長</p> <p><b>村 上 智 真</b></p>
<p><b>奉賀新年</b></p> <p><b>荒 尾 雅 也</b></p> <p>東京連盟目黒第7団団委員 ボーイスカウト日本連盟 相談役 世界スカウト財団理事</p>	<p>「思いやりを育む教育」を進めよう</p> <p>公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 理事 「セーフ・フロム・ハーム」安全委員会 委員長</p> <p><b>増 田 秀 夫</b></p>	<p><b>謹賀新年</b></p> <p>日本連盟 理事・プログラム委員長</p> <p><b>榊 原 孝 治</b></p>
<p><b>賀 正</b></p> <p>「先人にまなぶ」シリーズ全3作 歴代総長、先哲、中村知にまなぼう</p> <p>日本連盟顧問・創立100周年記念史編纂委員長</p> <p><b>鈴 木 國 夫</b></p>	<p><b>謹賀新年</b></p> <p>愛知連盟 理事長</p> <p><b>永 井 淳</b></p>	<p><b>迎春彌栄</b></p> <p>さわやかな世界を創りましょう</p> <p>環境共育グループ ビスタワールド</p> <p>主 宰 <b>矢 島 巖</b></p> <p>E-mail vistaiwao@world.ocn.ne.jp</p>
<p><b>謹賀新年</b></p> <p>愛知連盟 連盟長</p> <p><b>岡 谷 篤 一</b></p>	<p><b>謹賀新年</b></p> <p>横浜第87団団委員長 神奈川連盟みなと地区協議会長 国際スカウト・ロータリアン APR 委員長 国際カトリック・スカウト財団副理事長</p> <p><b>鈴 木 武 道</b></p> <p>〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町1098 tobysuzuki@gmail.com http://tobys.co.jp</p>	<p><b>日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ</b></p> <p>会 長 <b>松 平 頼 武</b> 副会長 <b>西 田 徹</b></p> <p>奈良・鹿児島で開催される会合でお会いしましょう。 問い合わせ 柳 staff@jalys.org</p>
<p><b>賀 正</b></p> <p>創立70周年記念行事を展開中の横浜第3団</p> <p>神奈川連盟 先達</p> <p><b>武 井 重 利</b></p> <p>E-mail: jl-takei@jcom.zaq.ne.jp</p>	<p><b>千葉県エバーグリーンズスカウターズクラブ</b></p> <p>代表幹事 沢 田 悦三朗 会 計 石 澤 英 輔 副代表幹事 阿 部 猛 郎 監 査 笹 島 洋 〃 鴻 巣 栄太郎 〃 山 本 隆 夫 〃 後 藤 芳 昭 事務局長 石 澤 英 輔 〃 杉 村 直 = 会 員 一 同 =</p>	<p><b>発団35周年 スカウト増員計画実行中!</b></p> <p>ボーイスカウト沖縄県連盟浦添第3団</p> <p>団委員長 <b>城 間 剛</b></p> <p>〒901-2103 沖縄県浦添市仲間3-4-3 TEL 080-1746-1401 saj-okiura3@nirai.ne.jp</p>





# 新 春 彌 栄

**日本スカウトライオンズ**

会 長 菅 原 雅 雄 (東京 船 留 LC)  
副 会 長 鬼 塚 俊 郎 (国 分 準 人 LC)  
伊 賀 保 夫 (東京 ビース LC)

名 誉 会 員 逢 一 郎 (岡山 もたろう LC)  
参 与 会 員 寺 越 慎 一 (広 島 平 和 LC)  
岡 村 聖 爾 (下 関 北 LC)  
宮 戸 秀 昭 (元 日 本 連 盟)  
代 表 理 事 津 守 勝 男 (東京 大 森 LC)  
理 事 川 田 基 弘 (岐 阜 南 LC)  
福 田 雅 之 (大 阪 豊 波 LC)  
藤 中 義 久 (宇 部 部 LC)  
田 尻 紀 夫 (東京 日 門 LC)  
千 葉 利 昭 (秋 田 山 王 LC)

幹 事 長 大 石 和 夫 (東京 青 山 LC)  
筆 頭 幹 事 長 稲 垣 秀 明 (東京 御 茶 水 LC)  
副 幹 事 長 中 山 道 則 (東京 明 田 クレイン LC)  
村 山 正 正 (東京 銀 座 LC)  
衣 笠 博 介 (東京 桜 門 LC)  
五 十 野 和 男 (東京 青 山 LC)  
会 計 洪 谷 俊 徳 (東京 新 郷 心 LC)  
監 事 松 尾 和 英 (東京 五 反 田 LC)  
黒 田 幹 雄 (東京 虎 の 門 LC)

問合せ・入会申込先/日本連盟事務局内  
tel: 03-6913-6262 fax: 03-6913-6263 e-mail: hello@scout.or.jp

**日本スカウトロータリアン**

会 長 松 平 頼 武 (東京 北 RC)  
副 会 長 犬 飼 康 元 (松 本 RC)  
佐 野 友 保 (秦 野 中 RC)  
水 野 正 人 (東 京 RC)  
鈴 木 秀 男 (東京 八 王 子 北 RC)  
太 田 幹 浩 (西 尾 一 色 RC)  
山 田 明 良 (西 宮 夙 川 RC)  
高 見 篤 志 郎 (大 阪 天 王 寺 RC)  
村 上 智 真 (柳 井 RC)  
戸 高 有 基 (津 久 見 RC)  
増 田 嘉 一 郎 (横 浜 旭 RC)

理 事  
監 事

問合せ・入会申込先/日本連盟事務局内  
tel: 03-6913-6262 fax: 03-6913-6263 e-mail: hello@scout.or.jp

**新 春 彌 栄**  
2020年 高尾山仏舎利奉戴90周年式典開催予定

**日本オールドスカウトクラブ**

名 誉 会 員 三 石 島 田 昌 智 子 圓 (唐 招 提 寺 第 八 十 七 世 前 長 老)  
相 談 役 長 村 松 山 平 石 頼 和 重 至 武 夫 利 満 一 俊 三 博 直 二  
副 会 長 大 武 加 望 河 木 鴨 志 田 村 井 昭  
世 話 人

全国大会等で展示活動を行います

**日本スカウト切手・メモリアクラブ**  
Scouting Collectors Club of Japan

『スカウト切手と記念消印』小町國市編著  
『バッチカタログ第2版』南波正夫編著  
『日本の少年団運動』五十野和男編著

スカウティング関係の切手、ワッペン、資料、コレクションに興味のある方はご連絡を

連絡先: smcj@outlook.jp

**イチヤリバ チョウデー**  
沖縄スカウトクラブ

顧問 阿波根 直 孝 奉 仕 古 屋 政 美  
川 上 宰 夫 監 事 儀 保 博 信  
会 長 新 城 信 武 会 員 奥 間 朝 彬  
副 会 長 中 山 良 正 與 古 田 力 男  
会 計 桑 江 泰 幸  
行 事 金 城 盛 良 玉 城 讓 治

**大阪連盟(せんしゅう地区)貝塚第2団**

育 成 会 長 田 端 隆 彦 信 博 郎 孝 隆 二  
団 委 員 長 井 上 田 川 川 口 下 憲  
副 団 委 員 長 富 浦 長 守 宮  
ビーバー隊長 谷 川 川 口 下 憲  
カブ隊長 長 守 宮  
ベンチャー隊長 長 守 宮  
ローパー隊長 長 守 宮

役員・団委員・指導者一同  
団本部 〒597-0015 大阪府貝塚市堀1丁目9番8号  
☎ 072-422-6133 FAX 072-422-6676

**明日へ!**

**北海道・東北ブロック協議会**

北海道連盟 秋田県連盟  
青森県連盟 山形県連盟  
岩手連盟 福島連盟  
宮城県連盟

会 長 乳 井 豊 彦 智 志 勉 将  
副 会 長 入 井 正 正  
監 事 末 永 多 林 俊  
ブ ロ ッ ク 選 出 名 誉 会 議 議 員 幹 事 コ ミ ッ シ ョ ナ ー

**日本ボーイスカウト青森県連盟**

連 盟 長 三 村 申 吾 堯 智 晃  
副 連 盟 長 葛 西 正  
理 事 長 入 間 正  
県 連 盟 コ ミ ッ シ ョ ナ ー 高 淵

**日本ボーイスカウト岩手連盟**

連 盟 長 南 部 利 文 理 事 長 末 永 正 志  
副 理 事 長 奥 田 耕 一 県 連 盟 コ ミ ッ シ ョ ナ ー 小 林 俊 将  
事 務 局 長 向 井 田 敏 宏

**日本ボーイスカウト宮城県連盟**

連 盟 長 村 井 嘉 浩 副 理 事 長 高 橋 徳 夫 郎 司 光 博  
副 連 盟 長 芳 賀 文 藏 普 村 野 五 佳 雅 義  
東 海 林 良 雲 (兼 事 務 局 長) 村 高 千 葉  
理 事 長 和 田 剛 和 県 連 盟 コ ミ ッ シ ョ ナ ー

**日本ボーイスカウト秋田県連盟**

連 盟 長 佐 竹 敬 久 理 事 長 乳 井 豊 彦 司 隆 司  
副 連 盟 長 安 田 孝 司 副 理 事 長 鶴 田 有 藤 原 隆 司  
米 田 進 藤 原 隆 司  
沢 屋 隆 世 県 連 盟 コ ミ ッ シ ョ ナ ー 吉 田

**ボーイスカウト山形県連盟**

連 盟 長 吉 村 美 栄 子 副 理 事 長 大 沼 大 蔵 樹  
副 連 盟 長 佐 藤 孝 弘 県 連 盟 コ ミ ッ シ ョ ナ ー 大 江 裕 樹  
理 事 長 松 田 隆 仁 事 務 局 長 野 村 正 博

公益財団法人  
**日本ボーイスカウト栃木県連盟**

連 盟 長 福 田 富 一 理 事 長 白 澤 嘉 宏  
副 連 盟 長 宇 田 貞 夫 副 理 事 長 櫻 井 政 義  
森 山 一 政 相 馬 啓 二  
長 老 齋 藤 幸 男 池 上 正 美  
相 談 役 宇 賀 神 伴 吉 県 連 盟 コ ミ ッ シ ョ ナ ー 中 村 利 久  
評 議 員 長 源 田 俊 昭 事 務 局 長 大 川 則 道

**日本ボーイスカウト群馬県連盟**

連 盟 長 大 澤 正 信 明 夫 美 明 一 俊 雄 文 人  
副 連 盟 長 新 河 大 小 藤 高 確 小  
理 事 長 内 川 松 井 松 井 倉  
副 理 事 長 大 小 藤 高 確 小  
県 連 盟 コ ミ ッ シ ョ ナ ー 事 務 局 長

**ボーイスカウト福島連盟**

連 盟 長 内 堀 雅 雄  
副 連 盟 長 増 子 恵 二 理 事 長 安 齋 精 児 宏 男  
副 理 事 長 国 馬 善 郎 副 理 事 長 夏 井 根 一  
県 連 盟 コ ミ ッ シ ョ ナ ー 大 槻 富 寛 事 務 局 長 関 根 一



# 新 春 弥 栄

あけましておめでとうございます

日本ボーイスカウト東京連盟

原 和彦	中 田 昇	時 田 和明	鈴木 武	杉野 健一郎	真山 明夫	佐藤 武信	肥沼 裕史	黒岩 達夫	神田 幸博	唐澤 弘至	荻原 和幸	大久保 秀人	入江 生夫	井沢 啓一	浅野 麻利子	白川 雅之	森谷 治男	山内 直元	福嶋 正己	小町 國市	津守 勝男	奥島 孝康
常務理事	理事	理事	事務局長	事務局長	理事	理事	理事	理事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	副理事長	副理事長	理事長	副理事長	副理事長	副理事長	連盟長
青木 昭明	伊東 孝紳	青木 昭明	久保田 康弘	浅野 正	村山 大介	才郷 正次	熊坂 博幸	大橋 仁	吉野 博明	武藤 真仁	松本 秀夫	増田 嘉一郎	藤村 満	福田 正男	藤村 満	白川 雅之	森谷 治男	山内 直元	福嶋 正己	小町 國市	津守 勝男	奥島 孝康

## 迎 春 弥 栄

日本ボーイスカウト千葉県連盟



南 正晃	菊地 康介	橋本 清	小林 恒行	石澤 英輔	曾根 田博	片寄 克陽	荻谷 克陽	越森 誠	坂口 昇次	山本 勲	児玉 春美	鶴澤 弘明	太田 大州	柳間 隆之	小鷹 順一	野中 浩章	関口 陽市	香山 隆造	古山 博	増田 秀夫	高橋 雅彦	小川 信一	白井 國明	片平 紀行	伊藤 知夫	木村 政夫	高橋 昭二	萩原 博	
事務局長	常任理事	理事	事務局長	事務局長	事務局長	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	副理事長	副理事長	副理事長	副理事長	副理事長	副理事長	副理事長	連盟長

### 日本ボーイスカウト茨城県連盟

名誉連盟長	大井 川	和彦 彦夫	代 樹
名誉顧問	大關 竹橋	和正 俊千	英樹 二行
副連盟長	竹橋 佐八	英雄 敏俊	輝清 正貞
副連盟長	河宮 高中	敏俊 輝清	正貞 正貞
先達	八河 宮高	敏俊 輝清	正貞 正貞
理事	小池 林	大次郎 正勉	
副理事	池田 浦		
常務理事	三		

### 日本ボーイスカウト埼玉県連盟

連盟長	上田 清	清勇 政佳	司人 義久
副連盟長	清鈴 牛	佳健 喜繁	一子 夫之也
理事	紫板 西	繁政 雅	
副理事	角		

### ボーイスカウト埼玉県育成会

会長	相川 井	川本 原上	宗武 孝
常任顧問	井井 男	澤	

### 日本ボーイスカウト神奈川県連盟

連盟長	黒佐 藤濱	岩野 本田	祐友 欣雅	治保 司弘
副連盟長	柳鈴 清大	木水 津	裕令 省	明子 裕一
理事長				
副理事長				
県連盟コミッショナー				
事務局長				

### 日本ボーイスカウト新潟連盟

連盟長	花角 英	世孝 弘修
理事長	南池 清	重良 隆
副理事長		
県連盟コミッショナー		
事務局長		

### 日本ボーイスカウト富山県連盟

連盟長	石井 隆	一
理事長	大野 聡	一

### 夢！冒険！笑顔！いっぱいボーイスカウト

### 日本ボーイスカウト山梨連盟

連盟長	後藤 齋	鍋谷 正	俊潤 秀
副理事長	渡辺 一文	副理事長 河野 隆	
県連盟コミッショナー	中村 忍	事務局長 石橋 隆	







# 新春 弥 栄

## 日本ボーイスカウト宮崎連盟

連盟長 河野 俊嗣 副理事長 山口 洋一  
 理事長 池本 要 〃 林 幸孝  
 〃 山本 卓也  
 県連盟村 永盛哉 事務局長 河野 一  
コミッションナー

## 100周年記念史編纂委員会

委員長 鈴木 國夫 (日本連盟先達・顧問)  
 金井 昭二 (東京連盟)  
 小町 國市 (日本連盟理事)  
 吉田 俊仁 (茨城県連盟)  
 新藤 信夫 (日本連盟先達・顧問)

なろう。一人前に。



そなえよつねに  
**ボーイスカウト**

社会連携・広報委員会一同



## ボーイスカウト日本連盟 医療チーム 幹事会

至彦 (愛知)  
 恭太郎 (福井)  
 佳子 (香川)  
 理由 (京都)  
 千和 (京都)  
 真広 (茨城)  
 栄章 (兵庫)  
 文は (東京)  
 之 瀬 (埼玉)  
 嶋山 (岐阜)  
 山邊 (埼玉)  
 上 (埼玉)  
 渡村 (神奈川)  
 村 (愛知)  
 水 (東京)  
 平 (東京)  
 岩 (東京)  
 松 (東京)  
 嶋 (東京)  
 西 (東京)  
 三 (東京)  
 原 (東京)  
 一 (東京)  
 中 (東京)  
 村 (東京)  
 村 (東京)  
 渡 (東京)  
 村 (東京)

| 感 | 動 | 空 | 間 | 創 | 造 |

Total Space Production

謹賀新年

感動空間創造技術でスカウト活動をお手伝いしています

第23回 世界スカウトジャンボリー (ワールド・スカウト・センター)

RioTinto

Warm wishes for a safe & healthy new year!

リオテイントジャパン株式会社  
 代表取締役社長 山地 昇

**TSP** TSP太陽株式会社 www.tsp-taiyo.co.jp

[東京本社] 03-3719-3721 [大阪支店] 06-6306-3150

[営業所] 札幌・仙台・福島・茨城・さいたま・千葉・横浜・浜松・名古屋・三重・金沢・福井・奈良・岡山・広島・山口・福岡・鹿児島

新春弥栄 円石コンサルタント(株)

代表取締役会長 池田 和子  
 代表取締役社長 川久保 政茂  
(稲門スカウト倶楽部)  
 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-2-1

**ICOM** 謹賀新年

アイコム株式会社はボーイスカウト日本連盟の活動を応援しています。

謹賀新年 **ogawa**

代表取締役 | CEO 伊川 良雄

キャンパルジャパン株式会社 | www.campal.co.jp  
 〒136-0076 東京都江東区南砂 2-36-10 光陽ビル 4F

株式会社 博進企画印刷

代表取締役 浅井 美博

**共立印刷株式会社**

代表取締役社長 篠原 憲一

謹賀新年 **Yakult**

株式会社ヤクルト本社

執行役員 榎 良昌利

〒105-8660 東京都港区東新橋1-1-19  
 tel: 03-3574-8981 fax: 03-3575-8020

ヒューマン・アカデミック・テクノロジー株式会社

代表取締役 浅井 大恵

トライは  
 おかげさまで  
**40**周年

**TRY** CO., LTD  
 代表取締役 立川 勝得

**VICTORINOX**

ビクトリノックス 原宿神宮前店で「機関誌を見た」とお伝えいただくと、無料で名入れ彫刻いたします。  
 対象商品：フィールドマスター

03-6805-1300 通販可  
 info.harajuku.jp@victorinox.com



**PVC** パシフィック ヴィジョン株式会社

代表取締役社長 笹沢 明宏

**IRP** 国際航空写真株式会社

代表取締役 早川 太郎

謹賀新年

- 特別顧問: 大谷金樋, 谷坪光口, 光文平武, 淳雄輝男, 浄土真宗本願寺派 門主, 評議員長, 谷船森牛, 口橋谷山, 修夫男久, 大坂連盟 参与, 理事長, 奥日松水, 島枝平野, 孝頼正友, 康久武人, 東京連盟 連盟長, フジサンケイグループ代表, 香川連盟 連盟長, 学校法人本郷学園 理事長, ミズノ株式会社 会長, 神奈川連盟 副連盟長, 十全堂株式会社 取締役会長, 大阪連盟 参与, 東京連盟 理事長, 東京連盟 副連盟長, 奈良連盟 副理事長, 愛知連盟 副理事長, 東京連盟 理事, 滋賀連盟 名譽会議員, 経済ジャーナリスト, 千葉連盟 理事, 大分連盟 理事長, 山口連盟 理事, 長野連盟 理事長, 愛知連盟 連盟長, 岡谷鋼機株式会社 取締役社長, 東京連盟 副連盟長, 衆議院議員, BS 振興局 議員連盟 副会長兼事務総長, 神奈川連盟 副理事長, 大阪連盟 参与, 愛知連盟 理事長, 新東工業株式会社 代表取締役社長, 愛媛連盟 理事, 福島連盟 副連盟長, 公認会計士, 税理士, 神奈川連盟 参与, 公認会計士, 東京連盟 理事, 弁護士

名誉会議

- 日本連盟 コミッショナー, 福水鈴中, 嶋野木野, 正正合ま, 己人子り, (理事), (副理事長), (理事), (理事), 議 長 小町多田川島田, 議 員 市勉弘一裕, 日本連盟 理事, 北海道・東北ブロック選出, 関東ブロック選出, 中部ブロック選出, 近畿ブロック選出, 中国・四国ブロック選出, 議 員 内入西宮安鈴, 田江山本田木, 日生繁智令, 男夫喜勝子, 九州・沖縄ブロック選出, 学識経験, 学識経験, 学識経験, 学識経験, 日本連盟副コミッショナー

団支援・組織拡充委員会

- 委員長 村木田, 副委員長 村澤川, 委員 川白高藤

プログラム委員会

- 委員長 柳原孝治, 副委員長 柳原孝治, 委員 柳原孝治

指導者養成委員会

- 委員長 大久保秀人, 副委員長 大久保秀人, 委員 大久保秀人

国際委員会

- 委員長 嶋田寛彦, 副委員長 嶋田寛彦, 委員 嶋田寛彦

社会連携・広報委員会

- 委員長 磯山友幸, 副委員長 磯山友幸, 委員 磯山友幸

「セーフ・フロム・ハーム」安全委員会

- 委員長 増田秀夫, 副委員長 増田秀夫, 委員 増田秀夫

財務委員会

- 委員長 戸高有基, 副委員長 戸高有基, 委員 戸高有基

信仰奨励委員会

- 委員長 村飯上智真, 副委員長 村飯上智真, 委員 村飯上智真

中途退団抑止特別委員会

- 委員長 膳井功, 委員 膳井功

共済運営特別委員会

- 委員長 樽谷進, 副委員長 樽谷進, 委員 樽谷進

スカウトソング特別委員会

- 委員長 石原徹, 委員 石原徹



## ◎訃報

## 日本連盟特別顧問 北白川 道久

日本連盟役員として長きにわたりご尽力いただいた北白川道久氏（一般社団法人霞会館理事長）が平成30年10月22日、ご逝去されました（享年81）。

謹んでご冥福をお祈りいたします。



写真提供：豊島第1団

【日本連盟奉仕歴】国際委員（平成6年～）／顧問（平成13年～）／特別顧問（平成22年～）

## 北白川道久様を偲んで

北白川様には、日本連盟の特別顧問を長くお務めいただいていたました。

北白川様は、明治天皇のひ孫に当たられ、ボーイスカウト日本連盟と皇室とのパイプ役をお願いしていました。

学生時代には、学習院の東京第21隊（現在の東京・豊島第1団）に所属され、スカウト活動にたいへん熱心に参加されており、亡くなられるまで団の育成会長を務めておられました。

伊勢神宮の大宮司をされていたときには、神社スカウト大会を主催され、また伊勢地区のスカウト活動を支援、指導して下さっていました。

現職は、神社庁の統理、霞会館の理事長で、霞会館では日本連盟に毎年助成をして下さっていました。

たいへん穏やかで、立派な考えをおもちの方で、私たちとも気さくに付き合っていました。

亡くなられたことは、誠に残念なことであります。

北白川様のご冥福を心からお祈り申し上げます。

日本連盟 副理事長 松平 頼武

## SCOUTING

デジタル配信しています！



機関誌「スカウティング」のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。

デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。

ぜひご利用ください。



ID: scouting-magazine

PASS: sonaeyotuneni

URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>

2019  
No.730

3

SCOUTING

次号予告

次号の『スカウティング』は、2019年3月1日発行

特集

# 青少年プログラム

活動の要となるプログラムについて改めて考え、皆さんとともに新年度に向けた準備をしていきましょう。

なんでも応募先



公益財団法人 ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』投稿係

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 電話 03-6913-6262(代表) FAX 03-6913-6263 Eメール [scouting@scout.or.jp](mailto:scouting@scout.or.jp)

## 投稿規定

本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があり、また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんの方の投稿をお待ちしております。

日本連盟ホームページはこちら

<https://www.scout.or.jp>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟『スカウティング』2019年1月号 No.729 平成31年1月1日発行（奇数月1日発行）

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 <https://www.scout.or.jp>

『スカウティング』は、全国のボーイスカウト指導者（隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員）に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は団での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月～8月に新規、追加登録申請が承認された場合：5月号から当該月号を同封にて送付（例：8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封）②9月～翌年3月に登録申請が承認された場合：11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号～9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。

©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2019 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部（代表 TEL:03-6913-6262）までご連絡ください。

数量限定販売

FUKUBUKURO

2019

福袋

新春  
弥栄

今年の福袋は、限定のオリジナル  
トートバックに入れて、販売します！



小 ¥3,000-

品番：93000

中 ¥6,000-

品番：95000

大 ¥12,000-

品番：90000

中身は？：中と大には、mont-bell製のスペシャルバッグがはいっています！

ご注文は全国の販売店、SCOUT SHOP TOKYO、ホームページでご確認ください。



SCOUT SHOP JAPAN

Official Shop of the Scout Association of Japan



# ともに過ごすその時間は、 これからのミライを創る。



いよいよ今年是世界スカウトジャンボリー。  
日本から1,200人が、40,000人の仲間が待つアメリカへ。  
世界の仲間と過ごす2週間。そこにはさまざまな出会いや体験が待っています。  
そこでともに過ごす仲間たちと、これからのミライを創っていきます。  
グローバルな視点。世界中の仲間。そして自分。  
はじめよう。一人前になるために。



## 第24回世界スカウトジャンボリー日本派遣団

派遣期間：2019年7月21日(日)～8月5日(月)16日間(ISTは別日程)

テーマ：「新世界の扉を開こう」“Unlock a New World”

場所：アメリカ合衆国ウエストバージニア州サミット・ベクトル保護区

SCOUTING 2019/1

729

スカウトイング  
昭和53年12月15日 第3種郵便物認可  
平成31年1月1日発行(奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟  
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3  
電話 03 (6913) 6262 (代)

定価 ¥200 (税込)  
郵便振替 00130-1-66119  
口座名義 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

